特定非営利活動法人

パーソナルサービスセンタートムトム

平成28年度

事業報告~~(案)~~

法人全体

1、基本理念

ハンディのある方とそのご家族が地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには、利用者が選択できる豊かなサービスが必要です。トムトムはパーソナルサービスを提供するシステムの中で、年齢やその障がいの種別にかかわらず、利用者主体のサービスの確立をめざします。

2、運営方針

(1) 利用者本人を主体とした個人の生活、活動の場と支援体制の充実を目指す。
(2) 利用者の権利擁護とサービスの向上を目指して、事故と虐待を防止し、権利擁護推進のための活動をすすめる。
(3) 地域の関係団体や施設等と連携を図り、地域福祉のネットワークづくりを目指す。
(4) 職員の資質向上を目的として、研修や人事管理制度の整備を目指す。
(5) 安定したサービスが提供できるよう、労働条件、職場環境等の整備を図る。
(6) 適切な財務管理と会計処理システムに努め、信頼性の高い効果的、効率的な経営体制を目指す。

3、重点課題

(1)安定した運営の実現
- 法人内事業所間の情報共有と連携体制の強化
- 職員のメンタルヘルスケアについて、日々、生じるストレス等に対処できるようサポートの一環として、メンタルヘルスに係る相談機関の活用を継続して行う。
- 人材育成のための職員研修の実施
- 労務管理体制の構築
- 防災体制の強化

(2)安心できるより良いサービス提供の実現
- 本人を尊重した個別支援計画の作成の実施
- 本人を主体とした実践の振り返り(評価)

(3)事業展開と今後の見通し
- 学校卒業後の日中活動支援に関する事業の検討
- 法改正に伴う関係機関との連携と、より円滑な事業体制づくり
- 成人の利用者が通所する場の検討
- ケアホームとむ郎のスプリンクラー設置の検討

4、会議行事等(総会・理事会等)

会議名	種別	開催日
監査	定時	平成28年5月26日
理事会	第1回	平成28年5月30日
総会	定時	平成28年6月11日
理事会	第2回	平成28年11月28日
理事会	第3回	平成28年12月19日
理事会	第4回	平成28年12月26日
理事会	第5回	平成29年3月27日

5、会員

会員名	平成28年度
正会員	54名
賛助会員	88件

6、事業運営

事業所名		所在地	事業種別	事業(サービス)名		サービス提供地域
本部		西真土		法人本部業務,総務(経理・労務・庶務)		
トムトム相談室		南原	障害福祉サービス	計画相談支援,障害児相談支援		茅ヶ崎市
茅ヶ崎支部	あいあいクラブ	萩園		多機能型	放課後等デイサービス	茅ヶ崎市 寒川町
	からんころん				生活介護	
	ゴロゴロクラブ	赤羽根		放課後等デイサービス 茅ヶ崎市日中一時支援		
	ケアホームとむ郎	香川		共同生活援助		
	モンキーポッド	萩園		茅ヶ崎市日中一時支援		
平塚支部	えぽっくハウス	南原	障害福祉サービス	多機能型	生活介護	平塚市
	黄色の家	中原				
	アンヌ	城所				
	グリーン工房1階	西真土				
	キャロット工房				就労移行支援 就労継続支援B型	
	青果ことぶき	寒川				
	えぽハウ	御殿		平塚市日中一時支援		
	ゆうゆうクラブ			放課後等デイサービス		
	ぶんぶん	南原		居宅介護,重度訪問介護,移動支援		
			自由契約	個別支援(パーソナル)		

7、施設管理業務

(1)建物の状況

No	所在地	床面積	事業所
1	平塚市南原2－4－5	206.25 ㎡	ぶんぶん, えぽっくハウス・トムトム相談室
2	平塚市南原2－4－5	41.25 ㎡	
3	茅ヶ崎市赤羽根2165－2	120.89 ㎡	ゴロゴロクラブ
4	茅ヶ崎市香川4－21－12	148.65 ㎡	ケアホームとむ郎
5	平塚市中原2－6－63	101.84 ㎡	黄色の家
6	平塚市西真土1－7－62	126.37 ㎡	キャロット工房
7	平塚市西真土1－7－56	130.00 ㎡	グリーン工房
8	平塚市城所1382	162.47 ㎡	アンヌ
9	高座郡寒川町一之宮1－9－15	49.50 ㎡	いずみビル201号室
10	平塚市御殿1-7-6	118.38 ㎡	ゆうゆうクラブ
11	茅ヶ崎市萩園2336－2	198.78 ㎡	あいあいクラブ, からんころん
12	平塚市御殿1-33-21	59.52 ㎡	えぽハウ
13	茅ヶ崎市萩園1602	53.60 ㎡	モンキーポッド
14	高座郡寒川町一之宮1－9－15	128.00 ㎡	青果ことぶき

(2)駐車場の状況

No	所在地	台数	No	所在地	台数
1	茅ヶ崎市萩園2336-2	11 台	11	平塚市南原2－3－10	1 台
2	茅ヶ崎市松林3－821	4 台	12	平塚市南原2－8－14	5 台
3	茅ヶ崎市香川4－400－1	2 台	13	平塚市南原2－8－15	3 台
4	平塚市御殿1－7－6	4 台	14	平塚市南原2－4－7	5 台
5	平塚市御殿1－23－3	2 台	15	平塚市南原2－4－9	3 台
6	平塚市御殿1－1111－4	3 台	16	平塚市西真土1－1512－1	5 台
7	平塚市御殿1－22－31	1 台	17	平塚市西真土1－1521－1	3 台
8	平塚市御殿1－112－3	8 台	18	平塚市西真土1-1528-1	1 台
9	平塚市南原2－187－1	1 台			
10	高座郡寒川町一之宮1－9－15	1 台			
合計					63 台

（3）法人所有車両

事業所	車両	原付自転車	事業所	車両	原付自転車
本部	1 台	0 台	ぶんぶん	1 台	0 台
あいあいクラブ	3 台	0 台	ゆうゆうクラブ	3 台	0 台
ゴロゴロクラブ	3 台	0 台	からんころん	2 台	0 台
とむ郎	1 台	0 台	トムトム相談室	1 台	1 台
えぽっくハウス	12 台	0 台			
合計				27 台	1 台

（4）什器備品・リース

No	主な備品資産	台数
1	プリンター	2 台
2	パソコン機器	33 台
3		台
4		台
5		台

No	リース契約	台数
1	コピー機	5 台
2	beatactive	1 台
3	オフィス電話	14 台
4	はちろう・まぜろう	各1 台
5	ことぶきレジスター	1 台
6	人事管理ソフトウェア	1 台
7	マウントサーバー	1 台
8	Missヘルパー総合支援介護給付費請求	1 台

（5）主なITソフト

No	種類	ソフト名	会社名
1	給与	給与奉行	（株）オービックビジネスコンサルタント
2	会計	福祉大臣	応研（株）
3	障害福祉サービス等請求	真 障害者総合支援法対応　介護派遣コーディネイトシステム	テラ・システム（株）
4	障害福祉サービス等請求	Missヘルパー総合支援介護給付費請求	（株）正木設計
5	グループウエア(*)	サイボウズ	サイボウズ（株）
6	人事	人事奉行	（株）オービックビジネスコンサルタント

＊組織内の情報共有のためのシステムソフト

8、職員体制

（平成29年3月31日現在）

	部長	課長	主任	リーダー	一般職	看護師	合計
常勤	2	3	2	4	21		32
嘱託				2	4		6
非常勤					79	3	82
アルバイト					2		2
合計	2	3	2	6	106	3	122

※組織図別紙1参照

9、職員研修

研修名	開催日	場所	講師（主催）
初任者研修 「トムトムのなりたち、事業について/障がい福祉制度について」	4月1日	えぽっくハウス	総務部長・課長
初任者研修 「組織と経営について」	4月4日	えぽっくハウス	事業部長

研修名	開催日	場所	講師（主催）
初任者研修 「総務・労務全般について」	4月7日	えぽっくハウス	総務部長・課長
「リスクマネジメント研修」	4月20日	えぽっくハウス	法人アドバイザー/和田清氏
グループワーク	6月11日	茅ヶ崎市分庁舎6階大集会室	情報共有について
法人全体研修 「口腔ケアの大切さ・嚥下機能のメカニズム」	6月11日	茅ヶ崎市分庁舎6階大集会室	芳賀デンタルクリニック院長/芳賀定氏
「対人援助職のメンタルヘルス研修」	6月15日	えぽっくハウス	湘南精神保健福祉士事務所/目黒明子氏
サイボウズの使い方	9月21日	えぽっくハウス	富士ゼロックス神奈川株式会社/藤田恭祐氏
個人情報保護研修 「利用者の個人情報の意識を身につけてますか？」	10月13日	えぽっくハウス	みなと横浜法律事務所弁護士/内嶋順一氏
知的障がいのある人が豊かに暮らすために～それぞれの年代に応じた福祉サービス	11月16日	えぽっくハウス	全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員・「手をつなぐ」編集委員/（社）日本発達障害連盟JLニュース編集長/又村あおい氏
防災対策について	1月18日	えぽっくハウス	平塚市防災危機管理部害対策課/山森氏
障がい者支援におけるリスクマネジメント グループワーク	3月4日 3月4日	平塚市勤労会館 平塚市勤労会	株式会社フォーサイツコンサルティング代表リスクマネジメント協会理事/浅野睦氏 情報共有について

10、内部会議の開催

会議名	主催	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹部会議	理事長	2	2	2	1	1	3	1	3	2	0	2	2
常勤全体会議	理事長	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
会計会議	理事長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
労務会議	理事長	1	0	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1
Logical会議	理事長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
請求担当者会議	総務部長	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
IT委員会	委員長	1	1	1	1	0	1	1	2	1	1	1	1
安全委員会	委員長	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1
衛生委員会	委員長	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1
広報委員会	委員長	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1
研修・人権擁護委員会	委員長	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1

11、職員の福利厚生

（1）健康診断費用の助成（常勤職員と一部の非常勤職員が対象）→11月～1月に実施済み
（2）インフルエンザ予防接種費用の助成→2月に実施済み
（3）新人歓迎会・職員親睦会等の費用の助成→6月に実施済み

12、役員数

理事5名，監事2名

13、苦情処理

1件

14、総括

重点課題の実施結果

1. 昨年度から引き続いて顧問会計事務所の協力のもと、中堅職員を中心とした、論理的思考や言動を学ぶ勉強会を毎月開催しており、今年度は法人会計について、事業毎の収支のしくみ、知識や理解を深める取り組みを行った。
2. 職員のメンタルヘルスケアについて、日々生じるストレス等に対処できるようサポートの一環として、継続して相談機関を活用しており、また今年度は、昨年厚生労働省から義務化されたストレスチェックを試験的に実施した。
3. 内部研修については研修委員会が中心となり、月毎にあらゆる分野から講師を招いて研修を行った。また、外部研修については、県や社会福祉協議会等が開催するさまざまな研修会の情報を職員に提供し、積極的に参加するよう促した。
4. 防災体制の強化として、安全委員会を中心に、災害発生時の連絡手段・方法等についての対策会議を行った。
5. より円滑な事業体制づくりを目指し、法人内で解決できない問題等は、相談支援事業を通して市町村や他事業所と連携して調整したり、所轄担当者へ相談するなど、問題解決に努めた。
6. 今まで、ゴロゴロクラブでの茅ヶ崎市日中一時支援の受入が飽和状態になっていたことから、新たな活動場所として茅ヶ崎市萩園を拠点としてモンキーポッドを開所した。
7. 重度の障がいをもつ利用者が入居するグループホームは、消防法により平成30年度までにスプリンクラーの設置が義務化されている。これに伴い、県の担当者より年度内に国庫補助金を受けることが可能と連絡があり、書類申請を交わした上で3月に設置工事を行った。

IT委員会

1、 目的

法人規模が拡大したことにより、法人の管理体制の見直しが急務となっている。
IT環境整備の観点から職員のパソコン等のスキル向上を目指すとともに、職員間、事業所間の情報共有やファイル管理について、法人全体の管理統制システムの強化を目指す。
ITシステムを上手に活用して、請求システム、ファイル保管、ファイル管理の保守強化等、業務効率化を目指す。

2、 内容

①個人情報の保護意識の向上とそれに付随する設備強化
②新たに導入した請求システムの安定的な運用と請求事務の効率化
③各支部におけるIT環境の見直し
④データ管理体制の構築を行い、事業所間の連携強化・効率化
⑤全職員のIT機器知識の向上・強化

実施月	詳細
4月	体制届けについて、IT環境について、DocuWorks導入報告
5月	4月分の請求について、DocuWorksの運用開始について
6月	28年度の委員会スケジュール等に関して
7月	サーバーについて、9月の職員向けIT研修について
9月	研修の振り返り、パソコン環境調査について
10月	パソコン環境調査の調査項目について
11月	PCシステム構築について、NASサーバーについて
12月 1月	パソコン環境調査の担当拠点を検討する IT環境調査について、ワーキングフォルダーの取扱いについて
2月	IT環境調査について
3月	IT環境調査結果のまとめ、次年度について

3、 重点課題

① 毎年度行われる制度変更、および新規事業等の開始に伴う制度請求への対応など、請求に関わる業務全般を委員会としてフォローをしていく。

② 法人内でのIT機器運用に伴い、基礎的なパソコンスキルの向上を目指す必要がある。今年度は研修などの機会を設けIT資源の活用・安全な導入に繋げていく。

③ 前年度のパソコン環境調査での課題に取り組む。

④ パソコンの台数増加に伴い、IT機器の管理を徹底していく。

4、 総括

上半期は、職員のスキルアップのための研修を実施、NASおよびサーバーの運用についての議論を行った。
下半期は、NASの運用法について総務と連携して新しい機器の導入及びデータの移し替え、各拠点で使用しているパソコンの設定変更などを行った。
パソコン環境調査に関しては調査項目の見直しをおこない、1月から2月にかけて各パソコンの環境調査を実施した。
また、パソコンのトラブル等が発生した際には保守サービスを活用しつつ、委員および総務の職員が問題解決に対応した。

安全委員会

1、 目的

労働安全衛生法に基づき、安全委員会において、労働者の危険防止に対する対策や労働災害の原因および再発防止対策で安全に係るものに関することについて十分な調査審議を行う。

2、 内容

①安全に関する規程の作成に関すること
②安全に関する計画の作成、実施、評価および改善に関すること
③安全教育の実施計画の作成に関すること

実施月	詳細
4月	28年度の予定について
5月	28年度の予定について、1年間の振り返りと課題
6月	新メンバーでの会議となる。年間活動計画表を配布し、業務内容などの確認を行う
7月	法人としての緊急時（災害時）の連絡体制について、情報交換を行う
9月	消火器訓練、安全運転講習の進捗状況について、震災時の初期対応について検討
10月	消火器訓練及び安全運転講習の進捗状況について、震災時の初期対応の内容について
12月	安全運転対策及び災害時緊急メールシステムについて、不審者侵入時の危機対応について、マニュアルの確認、読み合せを行う
1月	災害時緊急メールシステム実施に向けて計画を練る、車輌ドライブレコーダーの費用等について、防災備蓄品の調査について
2月	利用者の常備薬の保管方法について検討、防災備蓄品の進捗状況について確認、災害時の緊急メールについて、今後の予定の確認
3月	常備薬管理に関するアンケートの結果確認、緊急メール配信サービスについての進捗状況、確認、新年度のスケジュール確認

3、 重点課題

① 火災及び地震を想定した避難訓練を定期的に実施していく中で、各事業所における避難体制を整えていく。

② 安全運転講習や運転に関わる研修を通して、法人全体の事故削減に向けて添乗者を含め、職員一人一人の安全運転に対する意識を高める。

③ 年間で予定されている取り組みに対し、各事業所の問題点や課題を抽出し、改善に繋がるよう各事業所へ対策を提案していく。

4、 総括

今年度は、年間で予定されている取り組みに加えて災害対策や危機管理体制に目を向けて新たな取り組みを実施出来たことが成果である。具体的には、大規模な震災被害を想定した「震災時の初期対応」について、ガイドラインを作成し全利用者に配布。同時に、災害時の緊急メール配信サービスを検討しており、各事業所の所属長を対象にデモ版の試験運用を行ない、使い勝手などのアンケート結果を集約した。

また、津久井やまゆり園事件を受けて、外部からの不審者に対する「不審者侵入時の危機対応マニュアル」を作成し各事業所へ周知した。周知して終わりではなく、今後は防犯意識や防災意識が少しでも向上するよう委員会から発信していきたい。

課題としては、火災及び、地震を想定した避難訓練を実施する際、どうしても1ヶ月～2ヶ月各事業所の実施が遅れる傾向がある為、早めに実施時期の案内をするなどして、予定がずれ込むことのないようにしていきたい。

衛生委員会

1、 目的

労働安全衛生法に基づき、衛生委員会において、労働者の健康障害防止や健康促進のための対策について十分な調査審議を行う。

2、 内容

①衛生に関する規程の作成に関すること
②衛生に関する計画の作成、実施、評価および改善に関すること
③衛生教育の実施計画の作成に関すること
④定期健康診断の結果に対する対策の樹立に関すること
⑤労働者の精神的健康の保持増進を図るための対策の樹立に関すること

実施月	詳細
4月	ストレスチェック、安全運転講習、心肺蘇生講習、ひやりはっと・事故報告書の書式の最終確認、年間計画最終確認
5月	引継ぎまとめ、1年間の反省、感想
6月	28年度の年間活動スケジュールと実施内容の確認及び担当決め
7月	感染症予防の実施と促し方について
9月	活動内容の確認及び検討
10月	感染症予防に関する研修会内容について、職場の巡回パトロールについて
12月	巡回パトロールおよび救急箱について
1月	安全パトロール及び生活習慣病予防について
2月 3月	腰痛に関する啓発活動について、安全パトロールの感想および反省 1年間の振り返り

3、 重点課題

① 取り組むべき範囲が安全と衛生に分かれた為、活動内容の焦点を絞り中長期的な活動計画を作成する。

② 心身ともに安定した労働環境づくりのための啓発活動を推進する。

③ 活動内容（講習やパトロール結果）を具体的に報告して共有することで安全衛生に関する職員の意識を高める。

④ ひやりはっと・事故報告について、労働者側の視点での事例が多く報告されるよう取り組む。

4、 総括

① 前年度に作成された28年度計画により計画的に活動するとこができた。年間を通して啓発活動に力を入れ、利用者だけでなく職員に対する啓発も行なった。

② 巡回パトロールについて、実施方法や対応側も慣れてきているのでスムーズに行なえるようになったが、チェック項目などの内容については改善が必要である。

③ 28年度に予定していた講習会等で実施に至らず、啓発活動で終わってしまったものがあった。講習会等を実施する上で研修委員会の協力を得て取り組むことも必要である。

広報委員会

1、 目的

広報誌・WEBサイト等を最大限活用し、法人のPR効果の向上、賛助会員の拡大につなげる。

2、 内容

①広報誌発行　年3回

②法人パンフレットの発行

③ホームページの活用及び見直し

実施月	詳細
4月	トムトム通信40号の内容について
5月	トムトム通信40号の内容確認・見直し
6月	トムトム通信40号の文章チェック
7月	トムトム通信41号内容決め
9月	トムトム通信41号進捗状況確認
10月	トムトム通信41号進捗状況、内容確認
12月	トムトム通信41号の感想、トムトム通信42号内容、担当決め
1月	トムトム通信42号内容、進捗状況確認
2月	トムトム通信42号進捗状況確認、平成29年度の活動について、HPについて
3月	トムトム通信43号内容とスケジュールについて

3、重点課題

① 新しいことへの挑戦など内容の充実を図り、年3回の広報誌の発行も今後継続していく。

② 常に最新の情報をホームページにて閲覧できるように体制を整えていく。

③ 賛助会員の拡大を目指し、法人の活動を理解しやすいようにホームページや広報誌等を活用していく。

4、 総括

計画通り、年3回発行することができた。今年度は、利用者の作品などを紹介する「トムトムギャラリー」や「職員リレートーク」のコーナーを新たに載せることができた。各事業所でのイベントの様子や、法人内で開催した研修や講習、情報共有への取り組みなどを載せ、トムトムの活動が、より伝わる内容となるよう意識した。

今後は、今年度何も手をつけることが出来なかった法人ホームページのデザイン変更と最新の情報の掲載について本格的に取り組む。

研修・人権擁護委員会

1、 目的

(1)研修

法人内外の研修を通じて、職員を育成し、モチベーションを上げ、事業を効果的、効率的に進め、継続できる法人基盤を作っていく為のサポートを行っていく。

(2)人権擁護

平成24年10月に障害者虐待防止法が施行された現在、障がい者虐待の現状や障がい者の置かれている社会的環境、障害者虐待防止法の理念や権利擁護の仕組みを改めて考え、障がいのある人がそのひとらしい生活を送るためにはどのようなことが必要であるか、職員個々の意識高揚を図る取り組みを行う。

2、 内容

(1)研修

平成28年度はリスクマネジメント、口腔ケア、メンタルヘルスの研修を行った。また、その他にも職員の連携、支援スキルやモチベーションの向上に繋がる研修を定期的に行った。

(2)人権擁護

性教育への理解に繋がる研修を取り入れた。また、障害者虐待防止法、障害者差別解消法の学習機会を定期的に設け、権利擁護について職員全体の意識を高めた。

実施月	詳細
4月	実施した研修の反省、振り返り。今後の研修の進捗状況の確認
5月	実施した研修の反省、振り返り。今後の研修の進捗状況の確認
6月	今年度の研修の進め方、研修内容について、各研修の役割分担
7月	今後の研修内容の検討、担当の割り振り
9月	今後の研修内容の検討
10月	個人情報に関する研修の振り返り、11月研修の調整
12月 1月	防災研修内容(1月常勤会議)の確認 3/04(土) 全体研修、3/15(水) 常勤全体会議　内容の検討、確認
2月	法人全体研修の内容確認、役割決め、常勤全体研修の内容検討
3月	今年度の反省、事例発表、検討

3、 重点課題

① 虐待を未然に防ぐ為の研修や、人権尊重を題材にした研修に取り組む。

② 職員の連携、支援スキル、モチベーションの向上に繋がる研修を行っていく。

③ 他委員会と連携した研修の企画、実施を行い、法人全体の職員スキルを多方面から向上していく。

4、 総括

28年度7月から29年度の6月までの期間の研修の企画をおこなった。
・法人全体研修を年3回、常勤会議内での研修を5回実施した。

① 虐待防止や人権擁護に繋がる研修については、職員の意識を高める必要があると考え2回実施(内1回は6月実施予定)した。共に法人全体での研修により、常勤職員だけでなく、非常勤職員も含めた法人全体で意識を高めていくことができた。

② 職員の連携に繋がる研修としては、法人全体で取り組んでいる情報伝達ツール「見える君」についてのグループワークを実施する等連携を深めて、モチベーションを上げることができた。

③ IT委員会と連携をし、常勤職員が活用しているグループウエアソフト「サイボウズ」の研修、安全委員会との連携で、感染症流行時期に、感染症予防の研修も取り入れ連携を深めることができた。その他、各拠点の面談等で御家族からの要望や関心度を反映して、災害や防災についての研修も実施した。

本部総務部(平塚市西真土1-7-56)

1、 目的

法人全体の運営業務が円滑に進むように環境整備する。

2、 業務内容

労務業務　人事、給与他
管理業務　法人設備、修繕、契約書の管理、契約と固定資産管理他
庶務業務　公的文書の作成・届出・法務関係手続き他
経理業務　会計処理、請求書の支払い、納税、補助金の申請他
管財業務　車両管理、リース管理、保険管理他
請求業務　未収金請求、障害福祉関係の請求他
本部業務　総会・理事会に係る業務、事務所申請他

3、 職員体制

常勤職員4名、嘱託職員1名、(事業部長1名、総務部長1名、総務課長1名、一般職員2名)
非常勤職員2名

4、 会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
総務会議	月1回	日程などの情報確認、部内検討事項の審議

(2)外部研修

研修名	開催日	場所	講師(主催)
平成28年度算定基礎届事務説明会	6月15日	平塚市中央公民館	日本年金機構
マイカー・自転車通勤リスク管理セミナー	7月7日	平塚商工会議所	あいおいニッセイ同和損保 (株)湘南支店
第1回制度請求事務研修	7月20日	横浜波止場会館	神奈川県民間知的障がい施設協同会
知的障害者の年齢に応じた福祉サービス	9月10日	神奈川県社会福祉会館2階ホール	又村 あおい氏 全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員「手をつなぐ」編集委員(社)日本発達障害連盟JLニュース編集長
①生活習慣病を予防する ②協会けんぽ重点取り組み事項	9月23日	藤沢南保健センター	全国健康保険協会神奈川支部

5、 設備管理業務

(1)施設設備の修理・工事

なし

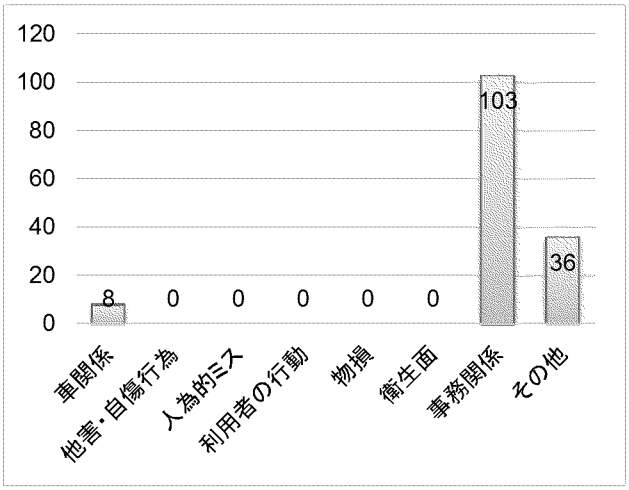
(2) 車両の車検及び点検・修理

号	車両名	車両登録番号	今年度車検	月	点検・修理
18	エヴリィ	湘南480け698	H28.12.26	12月	車検

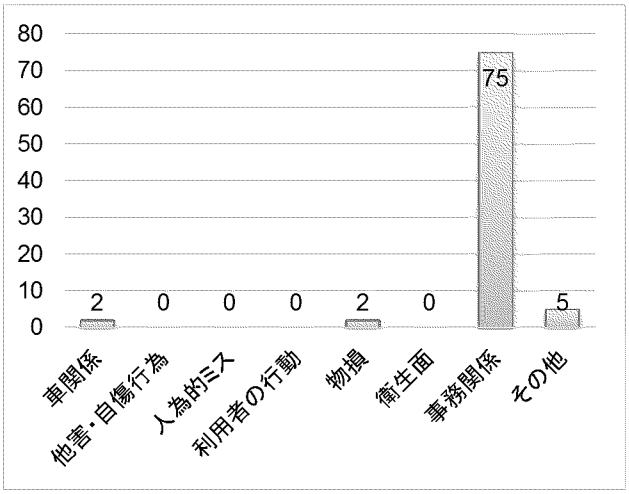
6、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情　　0 件

(2) ひやりはっと　　147 件



(3) 事故報告　　84 件



7、 重点課題と目標

(1) 事故報告とひやりはっと報告の実行

総務内において、事故報告とひやりはっと報告を適切に行い、事故を未然に防いでいく。

(2) 労務で管理する個人情報管理

労務で管理する職員の個人情報については、過去も含めて情報の整理を引き続き行い、法人人事や、運営等にも迅速に対応できるような仕組みづくりを行う。

(3) 安定した運営の実現

① 顧問社会保険労務士と連携し、労働条件の適正化や労務管理の改善など、事業の健全な発達を目指すとともに、雇用の安定、職場環境の改善、仕事と家庭の両立、職員の能力向上を図るため、雇用関係助成金を積極的に活用していく。

② 顧問会計事務所の助言や指導・経営アドバイス等を受けながら、公正な事業活動の更なる展開を目指す。

③ 事業所単位の自立的運営を目指して必要な人材の確保に努めるとともに、中堅職員の育成を強化する。

④ 給与ソフトとの連動が可能な就業管理ソフトを導入し、多様化している職員の勤務形態に対応できる労務管理体制づくりを目指す。

(4) 請求事務

各事業所の請求事務担当者と連携し、月ごとの未収金管理が適切に行えるよう、引き続き管理を行う。また、収入においては経理との連携はもちろんのこと、入金管理を徹底し、事業所の担当者へ繋いでいく。

(5)リスク管理

問題が起きた時には、顧問社会保険労務士、弁護士との連携を図り、対処していく。

(6)経費削減対策

消耗品等の削減はもとより、事務作業の効率化を法人全体で更に進めることによりコスト削減を図る。

(7)その他

各種規程・業務マニュアル等の整備、制定を進めて法人として組織統一を目指す。

8、 総括

1. 事故の未然防止対策として、意識的にひやりはっと報告を挙げるよう務め、毎月の会議の時に事故報告・ひやりはっと報告の振り返り検証を行っている。
2. 顧問社会保険労務士と連携して、給与規程の見直しを含む賃金制度改革への取り組みを引き続き行なった。
3. トムトムの現行または各種法令に合わせて、就業規則、育児休業等に関する規則、介護休業等に関する規則等の見直しと改定を行なった。
4. 請求担当者会議では、月1回各サービスの請求担当者が集まり、各サービスの人員配置、基本報酬、加算について学んだ。また、請求業務に係わる事故やひやりはっとについて皆で共有し合い、受給者証の更新の遅延、支給量オーバー、入力ミス等による否決など、どの事業所でも起こりうることを皆で確認することにより、否決の要因を把握し未然に防ぐことができた。

茅ヶ崎支部

1、 内部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
茅ヶ崎支部常勤会議	月1回	各事業所の報告及び課題検討
体制会議	9月12日	体制について

2、 外部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
放課後ネットかながわ	4月18日	研修企画、意見交換等
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	5月17日	27年度事業、決算報告等
放課後ネットかながわ	5月30日	研修企画、情報共有等
放課後ネットかながわ総会	6月4日	障害者差別禁止法研修、総会
全国放課後連総会	6月5日	意見交換、研修
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	6月15日	情報共有、意見交換等
放課後ネットかながわ	6月30日	情報共有、意見交換等
全障研神奈川総会	7月10日	総会、意見交換
放課後ネットかながわ	7月11日	研修企画、情報交換等
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	9月21日	研修企画、情報交換等
放課後ネットかながわ	9月26日	研修企画、情報交換等
湘南東地区施設長会	10月4日	情報交換等
放課後ネットかながわ	10月31日	11/20学習集会について、情報交換
湘南東西地区合同施設長会	11月4日	リスクマネジメントについて
全障研冬の交流集会打ち合わせ 効果後ネットかながわ学習集会	11月6日 11月20日	研修企画、進捗状況確認 成人期夕方支援の研修
放課後ネットかながわ	11月30日	11月の学習集会の振り返り他
全障研冬の交流集会打ち合わせ	12月11日	研修企画、情報交換等
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	12月21日	研修企画等
放課後ネットかながわ	1月23日	研修企画、意見交換等
全障研冬の交流集会	1月29日	研修、意見交換等
全国放課後連都道府県会議	2月12日	ガイドラインの検討、情報交換等
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	2月18日	コミュニケーション・スタッフの心構え
放課後ネットかながわ事務局	2月20日	研修企画、情報交換等

ゴロゴロクラブ（茅ヶ崎市赤羽根2165－2）

1、 実施事業　　放課後等デイサービス

2、 目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。主に、茅ヶ崎市内の中高生を対象として、放課後・土曜日・学校の長期休暇期間中にあわせて、利用者の発達支援と当事者家族の就労支援、レスパイトの一部を保障する。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、おやつ作り、等
(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市
(2)対象…18才未満で市町村より支給決定を受けた方(主に中・高生)
(3)開所日…月～土
(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)
(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00　土曜日・長期学校休業日/9:30～16:30
(6)定員…10名

4、 事業実績

	年間
開所日数	284
件数	1,501
平均件数(1日あたり)	5.3

5、利用者構成

(1)利用者数　：　定員10名、契約者15名（男性10名、女性5名）

6、職員体制

常勤職員3名、嘱託職員1名、非常勤職員9名

職名	人数(H28)	備考
管理者(常)	1	指導員と兼務
児童発達支援管理責任者(常)	1	
指導員(常)	1	
指導員(非)	6	
保育士(常)	1	
保育士(非)	3	
運転担当職員(非)	2	
計	13	延べ人数(実数)

7、 会議・研修

（1）内部会議

会議名	年間開催日	内容
スタッフ会議	月1回	情報共有、支援内容、課題検討
個別支援検討会議	隔月1回	個別支援計画のモニタリング
利用者打ち合わせ	2回	利用者個別支援内容について
利用者個別面談	半期毎	個別支援計画の作成について
あいあい、ゴロゴロ打ち合わせ	1回	あいあいからの移行予定者受け入れについて
常勤・嘱託定例打ち合わせ	5回	支援内容、各種連絡事項確認

（2）外部会議

会議名	年間開催日	内容
茅ケ崎養護学校プール説明会	1回	プール利用にあたっての説明等
ケース会議	1回	高等部進学者の自立通学について

（3）研修

研修名	開催日	場所	内容
現場研修	5月30日 6月8日	あいあい クラブ	あいあいクラブからの移行予定者を視察
新任職員人権研修	6月8日	神奈川県社会福祉会館	あおぞらプランⅡの説明、人権に関するグループワーク
行動援護従業者養成研修	6月26日	茅ヶ崎市コミュニティホール	行動援護の理解、基本、基礎について
行動援護従業者養成研修	7月3、7、10日	茅ヶ崎市コミュニティホール	行動援護の技術、事例分析
新任職員人権研修	7月27日	神奈川県社会福祉会館	あおぞらプランⅡの説明、人権に関するグループワーク
「被災地となったら～自分たちにできること」	9月30日	神奈川県社会福祉会館	①被災地支援報告②BCP策定について③グループワーク
気になる子どもとの関わり方ペアレントトレーニング	1月24日	茅ヶ崎市役所分庁舎5階会議室	日中一時支援事業所連絡会研修 ペアレントトレーニングを学ぶ
地域教育講演会 市民向け療育研修会	3月26日	茅ヶ崎市役所分庁舎4階会議室	発達障害の理解と対応、どうやって療育的対応を考えるか

8、 行事

行事名	開催日	内容
茅ケ崎養護学校夏祭り	7月22日	茅ケ崎養護学校夏祭りに参加
茅ケ崎養護学校プール利用	7月25日	茅ケ崎養護学校プールを借り活動を行う
茅ケ崎養護学校プール利用	7月27日	茅ケ崎養護学校プールを借り活動を行う
茅ケ崎養護学校プール利用	8月1日	茅ケ崎養護学校プールを借り活動を行う
茅ケ崎養護学校プール利用	8月3日	茅ケ崎養護学校プールを借り活動を行う
夏休み外出	夏期9日間	寒川水道記念館、電車外出、あーすプラザ ショッピングモール等への買い物及び昼食等の外出
スタンプラリー	8月19～31日	創作やゲーム等の活動
茅ヶ崎支部合同懇談会	9月27日	保護者との意見交換
支援級秋休み開所	10月11、12日	1日開所　昼食外出・買い物、散歩等支援
キラキラちゃんぷる音楽祭	10月15日	茅ケ崎養護学校体育館にて 主催：余暇支援ネットワーク

行事名	開催日	内容
クリスマス会	12月22日	手作りケーキとプレゼント
クリスマス会	12月24日	手作りケーキとプレゼント
節分	2月3日	豆まき
バレンタイン	2月13～18日	チョコレートやフルーツ等の提供 利用者へ袋詰め菓子セットのプレゼント
茅ケ崎養護学校高等部卒業式	3月9日	卒業式出席
ホワイトデー週間	3月14日	クッキーのプレゼント
茅ケ崎養護学校中学部卒業式	3月16日	卒業式出席
卒業生お祝い	3月30、31日	焼きそばパーティー ケーキの提供

9、 設備管理業務

(1)施設設備の修理・工事

月	内容
11月	複合機故障修理、トナードラム交換
12月	2階事務室無停電電源装置(UPS)本体交換
2月	2階事務室ドア室内握り玉錠の交換工事

(2)車両の車検及び点検・修理

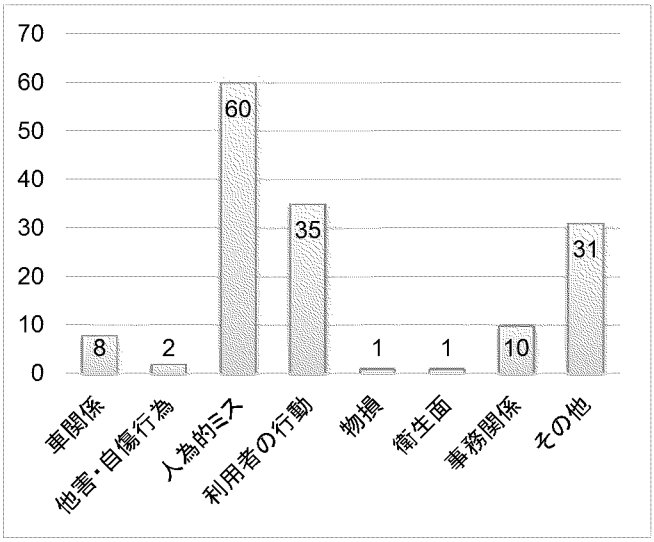
号	車両名	車両登録番号	今年度車検	月	点検・修理
12	イプサム	湘南301と8588	なし	4月	エアバックリコール
				5月	エンジンスターター交換
				5月	タイヤローテーション
				9月	エアバックリコール
				10月	12ヶ月点検他
24	ステップワゴン	湘南502に2154	なし	4月	タイヤ空気圧点検
				5月	後輪タイヤ交換
27	ハイゼットスローパー	湘南880あ1176	H29.2.26	12月	後輪車軸の無料修理
				2月	車検

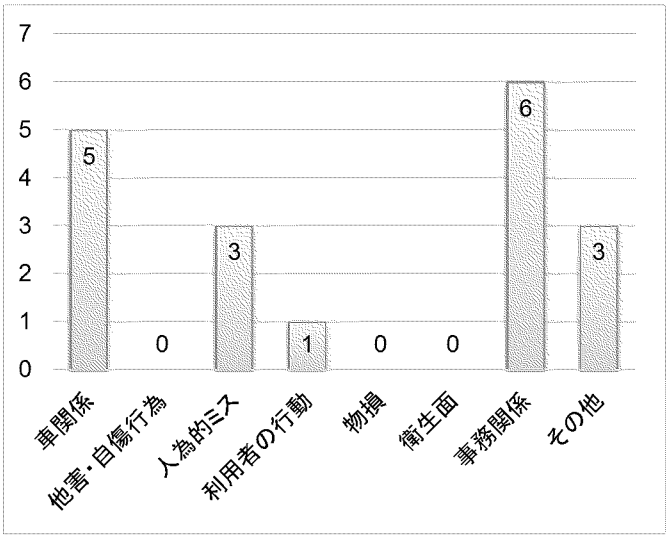
10、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情　　0 件

(2)ひやりはっと　　148 件

(3)事故報告　　18 件





11、重点課題

① 継続して計画的な定期利用を中心し、安定した事業運営を行っていく。
② 様々な年齢、障がいを持った方達の集団を支援する為の支援力の向上、活動内容の計画性と充実が求められている。
③ 利用者の多様化したニーズに応えていく体制作りが必要となっている。

12、目標

① 27年度の利用実績をベースに、新規利用者受入の環境を整えつつ、28年度内に1日平均8人前後の受入を目標とする。
② 会議、研修や日々の活動内で職員間の連携を強化し、活動内容の充実と支援の質の向上を目指していく。
③ 送迎や不定期での利用など多様化したニーズに応えつつ、職員の支援力や活動内容など強みを活かし安定した事業運営を続けていく。

13、総括

① 28年度は数名の卒業生があった中、計画的な利用を中心に職員配置等の工夫により不定期な利用に関しても柔軟に対応ができた。また、他事業所や相談支援事業所と連携しながら、利用者個々の状況に合わせてサービス調整を行うことができた。

② 長期休暇期間中や学校休業日を中心に、外出の機会を多く設けることができた。室内活動においても季節の行事を積極的に取り入れ充実を図った。事業所内の定例会議、個別支援検討会議や職員研修の機会を有効に活用し、支援力の向上に努めた。

③ 28年度より限定的に帰り送迎を実施する中、ニーズも高く現在週3日の送迎を1日増やす計画を立て、更には現場での質の高い支援を継続して実施していけるよう努力した。

ゴロゴロクラブ（茅ヶ崎市赤羽根2165－2）

1、 実施事業　　茅ヶ崎市日中一時支援

2、 目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。市内在住の方を対象として、利用者の活動場所の確保と当事者家族の就労支援およびレスパイトの一部を保障する。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等
(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市
(2)対象…市町村より支給決定を受けた方
(3)開所日…月～土
(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)
(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:30　土曜日/9:30～16:30
(6)定員…10名

4、 事業実績

	年間
開所日数	284
件数	1,529
平均件数(1日あたり)	5.4

5、利用者構成

(1)利用者数　：　定員10名、契約者19名（男性8名、女性11名）

6、職員体制

常勤職員3名、嘱託職員1名、非常勤職員9名

職名	人数(H28)	備考
管理者(常)	1	
児童発達支援管理責任者(常)	1	
指導員(常)	1	
指導員(非)	6	
保育士(常)	1	
保育士(非)	3	
運転担当職員(非)	2	
計	13	延べ人数(実数)

7、 会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
スタッフ会議	月1回	情報共有、支援内容、課題検討
利用者個別面談	5月23日 5月24日	重要事項説明書、利用契約書の説明
打ち合わせ	6月14日	今後の日中一時の方向性について
利用者支援打合せ	6月18日 6月20日	利用者ごとの支援方法等、課題を検討
個別支援検討会議	1月26日	利用者個別計画進捗状況の確認
利用者個別面談	2月13、14、20、21日	個別の情報共有と、支援の検討
打ち合わせ	3月8、30日	支援内容、各種連絡事項の確認等

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
日中一時支援事業所連絡会	5月17日	日中一時制度単価改正について
日中一時支援事業所連絡会	7月13日	日中一時支援事業所間の情報共有等
日中一時支援事業所連絡会	9月13日	事業所説明会、研修会、会費、名称について
日中一時支援事業所連絡会	11月15日	情報共有、課題検討等
日中一時支援事業所連絡会	12月19日	事業に関する講演会
担当者会議	2月23日	各事業所担当者、支援検討、情報共有

(3)研修

なし

8、 行事

行事名	開催日	内容
茅ヶ崎支部合同懇談会	9月27日	保護者との意見交換
クリスマス会	12月22日	手作りケーキとプレゼント
クリスマス会	12月24日	手作りケーキとプレゼント
節分	2月3日	豆まき
バレンタイン	2月13～18日	利用者へ袋詰め菓子セットのプレゼント
ホワイトデー週間	3月14日	クッキーのプレゼント

9、 設備管理業務

(1)施設設備の修理・工事

なし

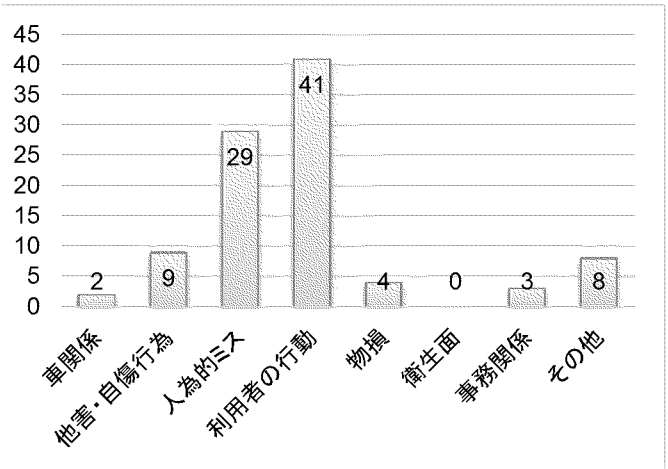
(2) 車両の車検及び点検・修理

なし

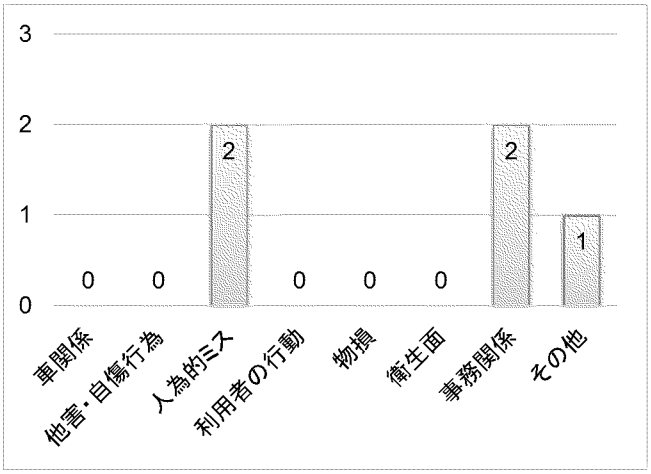
10、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情　　0 件

(2) ひやりはっと　　96 件



(3) 事故報告　　5 件



10、重点課題

① 27年度は、想定どおり定員が超過する事が多々あり、利用の調整を行ってきた。28年度は、新たに法人内で日中一時支援事業を行う事業所(モンキーポッド)を開所するので、定員超過で利用を受けられないという課題は解消すると思われる。今年度はモンキーポッドと連携しながら開所後に見えてくる課題に備えたい。

② 送迎に関しては職員不足、リスクマネジメント等が課題となっている。職員会議等で審議していく。

③ 今後も、市内の法人や施設、事業所同士で連携し、地域福祉のネットーワークづくりを目指していく。

11、目標

① 27年度の利用実績とニーズの高さを考慮し、1日平均5名以上の受入を目標とする。

② 効率的に利用を受けることが出来るよう、ご家族や法人内外の他事業所との連携を強化していく。又、緊急時対応を含む不定期な利用にも対応できる体制を整えていく。

③ 日中一時支援事業において、重度加算、行動加算、送迎加算など一部単価の見直しが7月1日より施行される予定。利用希望の増加が見込まれる中ではあるが、より充実した活動を行えるよう、職員体制の強化と支援の質の向上を目指していく。

12、総括

① 計画的な利用を中心に運営する中、ご利用者・ご家族の緊急対応ニーズに対し、職員体制も確保した上で受け入れを行うことができた。

② 他事業所やご家族の協力を仰ぎながら、効率的に通所先への送迎体制を整えつつ、個々のニーズや状況に応じて必要な支援を行っているが、他の新規事業者が開設する中、ニーズの変化もあり、対応を検討しなくてはならない。

③ 28年7月より茅ヶ崎市の制度改正があり、行動加算・重度加算が個別に付加されることによって収益については改善された。加えて支援度の高い利用者の必要なニーズに対し、これまでの経過を踏まえて質の高い支援ができるよう職員間で情報共有をしながら努力した。

あいあいクラブ（茅ヶ崎市萩園2336－2）

1、 実施事業　　放課後等デイサービス

2、 目的

児童福祉法に規定されている、放課後等デイサービス事業を実施する。主に、茅ヶ崎市内の小学生を対象として、放課後・土曜日・学校の長期休暇期間中にあわせて、利用者の発達支援と当事者家族の就労支援、およびレスパイトの一部を保障する。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、等
(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市
(2)対象…18才未満で市町村より支給決定を受けた方(主に小学生)
(3)開所日…月～土
(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)
(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00　土曜日・長期学校休業日/9:30～16:30
(6)定員…10名

4、 事業実績

	年間
開所日数	285
件数	3,300
平均件数(1日あたり)	11.6

5、利用者構成

（1）利用者数　：　定員10名、契約者33名（男性22名、女性11名）

6、職員体制

常勤職員4名、嘱託職員1名、非常勤職員10名、アルバイト1名

職名	人数(H28)	備考
管理者(常)	1	
児童発達支援管理責任者(常)	1	
指導員(常)	3	
指導員(非)	9	(内4名他事業所兼務)(内1名休職中)
保育士(常)	0	
保育士(非)	1	
運転担当職員(非)	1	
計	16	延べ人数(実数)

7、会議・研修

（1）内部会議

会議名	開催日	内容
定例会議	月1回	情報共有、支援内容、日々の業務の課題検討
個別支援検討会議	月1回	利用者の情報共有、個別支援計画
利用者個別面談	各月	個別支援計画の作成

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
日中一時支援事業所連絡会	5月17日	平成28年度参加事業所顔合わせ他
日中一時支援事業所連絡会	7月13日	日中一時支援事業所間の情報共有等
日中一時支援事業所連絡会	9月13日	平成28年度研修会について情報交換
日中一時支援事業所連絡会	11月15日	12月の講演会について/2月の研修会について
日中一時支援事業所連絡会	1月17日	12月講演会振り返り/2月内部研修について
日中一時支援事業所連絡会	3月7日	次年度について
養護学校事業所向け説明会	3月8日	事業所紹介と送迎についての連絡

(3)研修

研修名	開催日	場所	内容
障害者差別解消法について	5月4日	平塚市民活動センター	障害者差別解消法について福祉サービス事業者として取り組むべきこと
自閉症の人の余暇と社会的活動	6月19日	海老名文化会館	自閉症の人の視点から見る「楽しみ」「余暇活動」について
行動援護従事者養成研修	6月26日	茅ヶ崎市コミュニティホール	行動援護の理解、基本、基礎について
行動援護従事者養成研修	7月3、7、10日	茅ヶ崎市コミュニティホール	行動援護に必要な基礎研修
サービス等利用計画と個別支援計画の関係性	7月28日	神奈川県社会福祉会館	サービス等利用計画と個別支援計画について学ぶ
知的障害のある人が豊かに暮らすために	9月10日	神奈川県社会福祉会館	ライフステージごとの制度利用について
消火器訓練	10月14日	あいあい駐車場	水消火器を使用した消火訓練等
早期療育普及研修	10月19日	総合療育センター	肢体不自由児・知的障害児・在宅療養児への援助など
安全運転講習	11月2日	三共自動車学校	運転業務に関わる実技、適性検査
感染症研修	11月7日	あいあいクラブ	感染症の基礎知識や対応について
寄り添うということ～実践実例を聴いて～	11月17日	神奈川県社会福祉会館	神奈川県知的障害福祉協会支援スタッフ部会からのケース発表
夕方支援ってなに？	11月20日	川崎市総合福祉センター	夕方支援についての保護者・事業所からの報告
発達障がい基礎講座	11月20日	港勤労福祉会館	みんなを笑顔にするソーシャルワークを生かした保育現場の保護者支援

研修名	開催日	場所	内容
発達障がい基礎講座	11月27日	港勤労福祉会館	幼児期・学齢時の子ども成長を促すために必要な発達支援
茅ケ崎市機関向け療育研修会	1月14日	茅ケ崎トラストビル	ともに育つこと～障がいのあるこどものたちの笑顔を育む社会に～
権利を守ることと本人活動	1月30日	神奈川県立かながわ労働プラザ	権利を守ることと、本人活動に必要なこと～障がいを認識プロジェクト、みんなで知る見るプログラム～
第三者評価の説明会	12月1日	神奈川県社会福祉会館	第三者評価について/第三者評価機関事業所の紹介
アメニティーフォーラム	2月10～12日	びわ湖大津プリンスホテル	アメニティーフォーラム21参加
気になる子どもとの関わり方～ペアレントトレーニング～	2月24日	茅ヶ崎市役所分庁舎5階	日中一時支援事業所連絡会研修/ペアレントトレーニングを学ぶ

8、 行事

行事名	開催日	内容
里山公園バーベキュー体験	4月4日	里山公園にてバーベキューを行う
ボランティア打ち合わせ	6月29日	夏休みボランティア受入れについての打ち合わせ
障がい児サポーターオリエンテーション	6月30日	障がい児のボランティア育成のための講座
障がい児サポーター養成研修	7月1日	実習先事業所と受講生のオリエンテーション
茅ケ崎養護学校プール説明会	7月11日	茅ケ崎養護学校のプール利用についての説明
茅ケ崎養護学校夏祭り	7月22日	茅ケ崎養護学校の夏祭りに参加
茅ケ崎養護学校プール利用	7月25日	茅ケ崎養護学校プールを借り活動を行う
茅ケ崎養護学校プール利用	7月27日	茅ケ崎養護学校プールを借り活動を行う
茅ケ崎養護学校プール利用	8月1日	茅ケ崎養護学校プールを借り活動を行う
茅ケ崎養護学校プール利用	8月3日	茅ケ崎養護学校プールを借り活動を行う
茅ヶ崎市総合体育館柔道場	8月9日	体育館で遊ぶ
茅ヶ崎市総合体育館柔道場	8月29日	体育館での余暇活動
茅ヶ崎支部保護者会	9月27日	保護者との意見交換
支援級秋休み（一日開所）	10月11、12日	秋休みの支援級受け入れ・外出
キラキラちゃんぷる音楽祭	10月15日	茅ケ崎養護学校での催しに参加
ハロウィン開催	10月29、31日	ハロウィンパーティーの開催
茅ケ崎養護学校きらめき祭	11月25、26日	茅ケ崎養護学校での催しに参加、その後の受け入れ
火災避難訓練	11月28日	火災を想定した避難訓練で、事業所から屋外へ退避する
つみき講演会/放課後活動の利用と制度について	12月19日	放課後等デイサービスと日中一時支援の違いと制度の利用についての説明会、及び事業所ブースでの対応
クリスマス会	12月22、24日	クリスマス会の開催
節分	2月3日	おてだまボールを使っての鬼退治、恵方巻き代わりに「丸ごとバナナ」

行事名	開催日	内容
茅ケ崎養護学校高等部卒業式	3月9日	卒業式出席
茅ケ崎養護学校小中学部卒業式	3月16日	卒業式出席

9、 設備管理業務

(1)施設設備の修理・工事

月	内容
5月	室内の壁面補修
5月	看板取り付け工事
8月	トイレドア交換

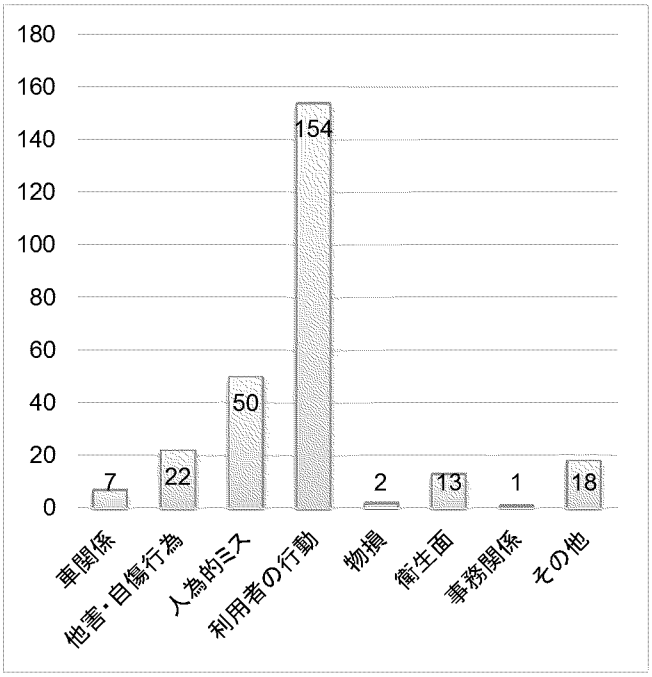
(2)車両の車検及び点検・修理

号	車両名	車両登録番号	今年度車検	月	点検・修理
10	デミオ	湘南502す3701	H29.3.30	4月	オイル点検
				9月	オイル交換
				3月	車検
20	ステップワゴン	湘南502と2886	H29.2.19	9月	オイル交換
				1月	車検
				2月	ワイパーゴム交換
21	ステップワゴン	湘南502と2887	H29.2.19	9月	オイル交換
				2月	車検、ワイパーゴム交換

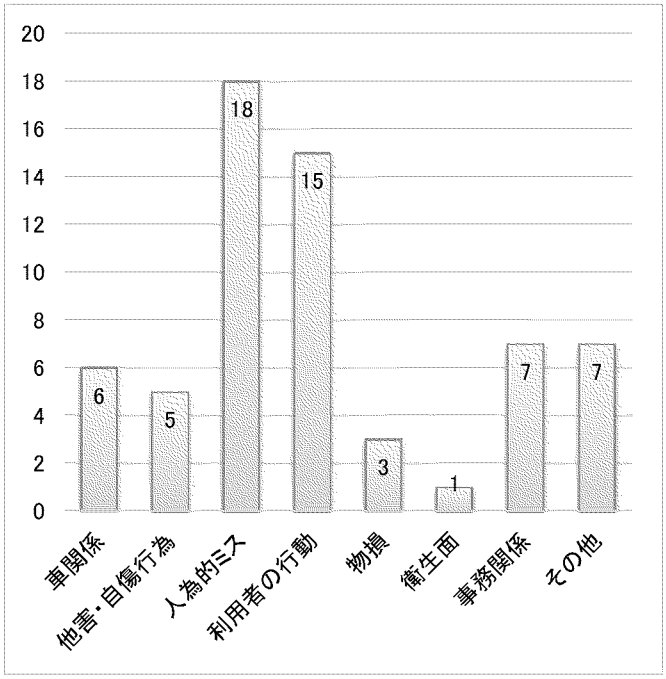
10、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情　　0 件

(2)ひやりはっと　　267 件



(3)事故報告　　62 件



11、重点課題

① 中学生・高校生の他事業所移行を進めるにあたり、保護者・移行先事業所との連携をとり、ご本人の様子に合わせて時期を調整していく。

② 利用者の移行と同時に、新規利用者の定着と在籍利用者の日程・日数の調整を進め円滑な活動・安定的な運営を継続する。

③ 相談事業所との連携を図り、利用者の思いに寄り添った支援を積み重ねる。あわせて業務効率化へと結びつけていく。

12、目標

① 地域の放課後等デイサービス事業所が増えているなか、平均11.5名利用を目標とする。

② ケース会議の内容を「個別支援計画の作成」を主としたものへ変更し、支援内容ならびに利用者の様子についての情報共有を円滑にすることで支援の質を高めていく。

③ 業務の洗い出し見直しを重ねることで効率化を進め、予定内での業務遂行を目指す。

13、総括

大きく課題としていた中高生利用者の他事業所移行について、受け入れ先事業所の事情や、ご本人の様子ともに状況が芳しくなく見送りの方向性となった。本人支援を大切にしつつ地域に根付いた放課後支援事業所として、年齢に沿った場面の提供も大切であるが、どの事業所でも人的資源不足という実情もあり、今まで掲げてきた年齢に合わせた放課後支援という見方を変えていくことになった。小学1年生から高校2年生までの年齢層を毎日受け入れる状況下、スタッフも初めての経験ながら各々が力を発揮し、ご利用者の笑顔のために力を出し切ることができた。新たな課題も多くあるが、多年齢受け入れの事業所として新しい一歩を踏み出した年となった。

ケアホームとむ郎（茅ヶ崎市香川4－21－12）

1、 実施事業　　共同生活援助

2、 目的

この事業は、利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、入浴、排泄または食事等の介護、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、食事及び排泄等の介助、風呂介助、余暇支援、相談、等
(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他
(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
(3)定員…6名

4、 事業実績

（1）茅ヶ崎市

	年間
開所日数	361
件数	1,255
平均件数(1日あたり)	3.5

（2）寒川町

	年間
開所日数	361
件数	353
平均件数(1日あたり)	1.0

5、利用者構成

（1）利用者数　：　定員6名、契約者5名（男性5名、女性0名）

6、職員体制

常勤職員3名、非常勤職員12名

職名	人数(H28)	備考
管理者(常)	1	
サービス管理責任者(常)	1	
生活支援員(常)	1	
生活支援員(非)	9	4名は世話人と兼務
世話人(常)	0	
世話人(非)	8	1名は生活支援員と兼務
計	20(15)	延べ人数(実数)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	月1回 (8月を除く)	情報共有、支援内容、日々の業務の課題検討
利用者個別面談	9月12～21日 3月14、22、23、28、31日	個別支援計画の作成
スプリンクラー打ち合わせ	11月22日	建築士・業者と打ち合わせ

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎・寒川グループホーム連絡会	6月14日	(消防より)防災について、情報交換
サービス担当者会議	6月23日	入居者の近況について情報提供
茅ヶ崎・寒川グループホーム連絡会	10月11日	近況報告、情報交換
サービス担当者会議	1月17、20日	パーソナルプラン作成に向けての情報交換
茅ヶ崎・寒川グループホーム連絡会	2月14日	報告、情報交換

(3)研修

研修名	開催日	場所	内容
GH職員向け研修	8月2日	茅ヶ崎市民文化会館	障害者総合支援法の基礎とグループホームの制度理解
GH職員向け研修	9月13日	神奈川県社会福祉会館	グループホームにおける自己評価
GH職員向け研修	9月14日	海老名市民会館	知的障害や自閉症の理解とグループホームにおける支援
GH職員向け研修	9月27日	茅ヶ崎市民文化会館	障害者差別解消法の理解とグループホームにおける実践
強度行動障害養成研修・基礎研修	9月30日～ 10月1日	横浜市技能文化会館	強度行動障害者支援における養成研修(基礎研修)
安全運転講習	10月24日	三共自動車学校	適性検査・場内運転
強度行動障害養成研修・実践研修	11月2～3日	横浜市技能文化会館	強度行動障害養成研修・実践研修
感染症講習会	11月7日	あいあいクラブ	感染症の対策など
GH向け職員研修	12月15日	おだわら市民交流センター	感情労働としての対人援助職
強度行動障害養成研修	12月15～16日	小田原分庁舎	強度行動障害養成研修・基礎研修
GH向け職員研修	1月20日	藤沢市民会館	虐待防止とグレーゾーンについて
アメニティーフォーラム	2月10～12日	びわ湖大津プリンスホテル	アメニティーフォーラム21参加
茅ヶ崎市障害者施設連絡会	2月18日	茅ヶ崎市役所コミュニティホール	対人援助講演会、施設紹介

8、 行事

行事名	開催日	内容
保護者会	4月11日	近況報告、実費負担金などについて
利用者モニタリング	4月21日	相談業務のモニタリング
誕生日会	5月10日	利用者の誕生日を祝い夕食時にケーキなどを提供
利用者モニタリング	5月16日	相談業務のモニタリング
スプリンクラー説明会	6月14日	県によるスプリンクラー設置希望事業所への説明会
誕生日会	7月7日	利用者の誕生日を祝い夕食時にケーキなどを提供
利用者モニタリング	7月26日	相談業務のモニタリング
保護者会	7月29日	とむ郎からの報告など
誕生日会	8月4日	利用者の誕生日を祝い夕食時にケーキなどを提供
スプリンクラー打ち合わせ	8月24日	設計士、建築士と打ち合わせ
事業所見学	11月25日	グループホームを希望する施設入所者1名と施設職員が内見
避難訓練	12月7日	火災を想定した避難訓練
スプリンクラー打合せ	12月12日	スプリンクラー設置に向けての今後の流れの確認
大掃除	12月18日	ホーム内の大掃除および懇親会
クリスマス会	12月22日	夕食時にケーキなどを提供する
消防用設備定期点検	1月18日	火災報知器の定期点検立ち会い
体験希望者内見	3月22日	体験入居希望のご家族が事業所を見学
消防署立会検査	3月23日	スプリンクラー設置に伴う市消防署の設備検査
県立会検査	3月29日	スプリンクラー工事完了に伴う県福祉課の立会検査

9、 設備管理業務

(1)施設設備の修理・工事

月	内容
5月	エアコンクリーニング
7月	消防用設備機器点検
7月	トイレ詰まり修理
11月	エアコンクリーニング
1月	トイレ詰まり修理
1月	消防用設備機器点検
2月	台所換気扇レンジフードクリーニング
3月	スプリンクラー消火設備工事、火災通報装置工事

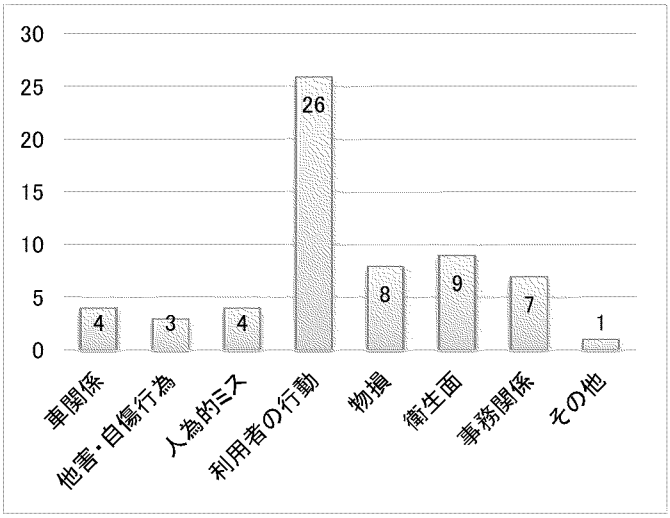
(2)車両の車検及び点検・修理

号	車両名	車両登録番号	今年度車検	月	点検・修理
5	セレナ	湘南501ほ2975	なし	8月	タイヤ交換
				8月	エンジンオイル交換
				8月	ブレーキ点検
				1月	点検整備

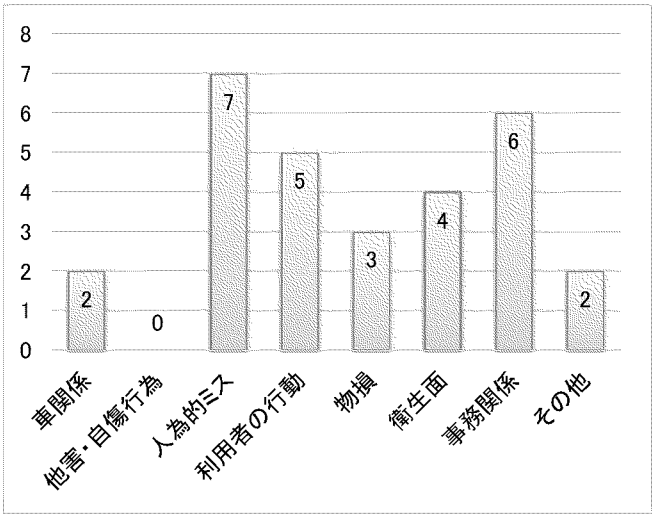
10、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情　　0 件

(2) ひやりはっと　　62 件



(3) 事故報告　　29 件



11、重点課題

① 平成29年度(平成30年3月31日)までに義務化となるスプリンクラーの設置を行う。

② 必須となる強度行動障害支援者養成研修の受講。

12、目標

① 定員数(6名)の入居利用を実施する。
② 職員の支援スキルの向上。
③ 安定した職員体制を確保する。

13、総括

① 重点課題であったスプリンクラー設備の設置については、H29年3月に工事を実施。

② 強度行動障害養成研修について、常勤職員が基礎・実践編ともに受講終了。非常勤職員も順次受講しているほか、外部の研修にも非常勤職員に参加してもらう機会を作ることができた。

③ 入居者は依然として1名の空きがある状態ではあるが、既存の入居者は安定した生活を維持できているので、29年度中には新規の利用者を獲得したい。

④ 長く働いてもらっている職員が多いものの、退職者が出た一方で新規の入職者は来ておらず、既存職員の勤務再編や他事業所からの応援で賄っている。年配の職員が大半なので負担の偏らない勤務を継続したい。

からんころん（茅ヶ崎市萩園2336－2）

1、 実施事業　　生活介護

2、 目的

利用者の排泄、食事等の介助や日中活動の充実を図り、日常生活、社会参加促進や生活能力向上に向けての訓練を行う。

3、 事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等
(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他
(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
(6)定員…10名

4、事業実績

（1）茅ヶ崎市

	年間
開所日数	253
件数	1,649
平均件数(1日あたり)	6.5

（2）作業会計の状況

	年間
収入(円)	97,560
工賃総額(円)	83,340
平均工賃額(円)	10,883

5、利用者構成

（1）利用者数　：　定員10名、契約者8名（男性5名、女性3名）

6、職員体制

常勤職員4名、嘱託1名、非常勤職員5名

職名	人数(H28)	備考
管理者(常)	1	
サービス管理者(常)	1	
生活支援員(常)	3	
生活支援員(非)	3	
事務員(非)	0	
看護師(非)	1	
運転担当職員(非)	1	
計	10	延べ人数(実数)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	月1回	業務連絡、日々の支援の確認
利用者個別面談	月1～3回	個別支援計画の作成、モニタリング
運営自己点検チェック	11月9日	自己点検チェック
新規利用者受入対応会議	3月13日	新規利用者受入に向けての検討会議

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
利用者モニタリング	6月6日	利用者の相談支援員とのモニタリング
進路について	12月8日	次年度の利用についての打ち合せ
新規利用者モニタリング	2月14日	新規利用者の学校での様子の見学、聞き取り
サービス担当者会議	2月15日	関係機関との情報共有、支援検討
茅ケ崎養護学校事業所説	2月23日	茅ケ崎養護学校での成人通所事業所の説明会
サービス担当者会議	2月23日	関係機関との情報共有、支援検討
新規利用者モニタリング	2月27日	新規利用者の学校での様子の見学、聞き取り

(3)研修

研修名	開催日	場所	内容
応急手当講習	6月2日	ゆうゆうクラブ	AEDを使った心肺蘇生法の実施体験
交通安全講習	6月15日	ゆうゆうクラブ	警察署から講師を招き最近の事故の傾向等を聴講
自閉症の人の余暇と社会的活動	6月19日	海老名市文化会館	自閉症の人の余暇、社会的活動について
新規指定事業者集団指導	6月28日	かながわ県民ホール	新規指定事業所向けの集団実地指導
サービス等利用計画と個別支援計画について	7月28日	神奈川県社会福祉会館	サービス等利用計画と個別支援計画の関係性について
やまゆり研修会	9月10日	神奈川県社会福祉会館	知的障がいのある人が豊かに暮らすために
個人情報研修	10月13日	えぽっくハウス	個人情報に関しての研修
運転講習	10月26日	三共自動車学校	運転実技指導、適性検査
成年後見制度について	11月26日	勤労市民会館	成年後見人制度を利用している親御さんの実践報告など
摂食について	12月9日	中井やまゆり園	摂食、嚥下機能などについて
気になる子どもとの関わり方	2月24日	茅ヶ崎市役所分庁舎5階	日中一時支援事業所連絡会研修 ペアレントトレーニングを学ぶ

8、行事

行事名	開催日	内容
お花見	4月6日	浄見寺にて桜を観賞する
食事会	4月29日	職員、利用者で昼食を買出しして食事会を実施
茅ケ崎養護学校夏祭り	7月22日	自主製品販売
茅ケ崎養護学校プール利用	7月25日	茅ケ崎養護学校プールを借り活動を行う
茅ケ崎養護学校プール利用	8月1、3日	茅ケ崎養護学校プールを借り活動を行う
茅ケ崎養護学校保護者見学	9月13日	茅ケ崎養護学校保護者の見学受け入れ
アグリメディア打ち合わせ	9月30日	畑作業の仲介業者との打ち合わせ
慰労外出	10月13日	ズーラシアへの慰労外出

行事名	開催日	内容
ハロウィンパーティー	10月31日	ハロウィンのお菓子作り、配布など
さくらの家福祉農園感謝祭	11月23日	伊勢原の福祉施設の収穫祭
茅ケ崎養護学校きらめき祭	11月26日	自主製品の販売
クリスマスコンサート	12月14日	平塚中央公民館にて、ハンドベルのコンサートに参加
クリスマス会	12月22日	ケーキ、プレゼント等、クリスマスのお祝い
節分	2月3日	恵方巻作り、豆まきなど
バレンタイン	2月14日	お菓子作り
ひなまつり	3月3日	ちらし寿司作り
利用者健康診断	3月22日	定期健康診断ほか

9、 設備管理業務

(1)施設設備の修理・工事

なし

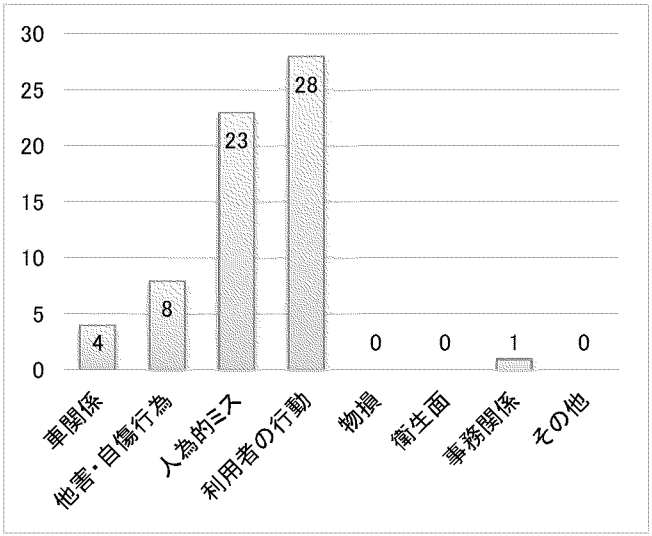
(2)車両の車検及び点検・修理

号	車両名	車両登録番号	今年度車検	月	点検・修理
8	タウンエースノア	湘南501ら1789	なし	5月	半年点検
				6月	シートベルト修理
				7月	パンク修理
				8月	タイヤ交換
				2月	ワイパーゴム交換
25	ステップワゴン	湘南502に2152	なし	4月	リアアンダーミラー設置
				5月	タイヤ交換
				2月	ワイパーゴム交換

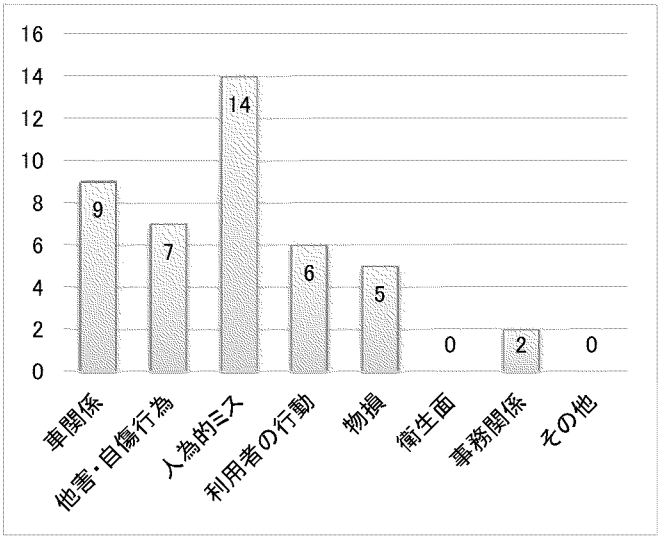
10、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情　　1 件

(2)ひやりはっと　　64 件



(3)事故報告　　43 件



11、重点課題

① 作業活動の充実（室内作業、屋外作業、生産活動等）

② 職員の支援スキルの向上

③ 余暇活動、創作活動の充実と社会参加機会確保

12、目標

① 新規利用者を含め、年間を通じて安定した通所環境を整える。

② 利用者、職員共にモチベーションの向上に繋がる余暇活動を積極的に取り入れていく。

③ 地域においての日中活動事業を定着させ、次年度以降の発展に向けての体制強化を行う。

13、総括

① 新しい作業活動や余暇活動に取り組んだ一年であったが、計画性や連携力など、課題が多く挙げられた。長期的な計画を立てて活動に取り組み、今後も利用者、職員の活力になるよう、精力的に活動の幅を広げていきたい。

② 職員間の連携を強化するために会議を重ねるなど努力した。しかしその一方で、勤務時間の超過の課題が残る結果となった。上司の助言を受けながら、業務の効率化を探り、課題の改善に向けて取り組んだ。

③ 新規利用者受入れに向けて、職員体制、活動の内容等について、会議で話し合い計画を立てた。

モンキーポッド(茅ヶ崎市萩園1602)

1、 実施事業　　茅ヶ崎市日中一時支援

2、 目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。市内在住の方を対象として、ご利用者の活動場所の確保と、当事者家族の就労支援およびレスパイトの一部を保障する。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等
(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市
(2)対象…市町村より支給決定を受けた方
(3)開所日…月～土
(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)
(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:30　土曜日/9:30～16:30
(6)定員…12名

4、 事業実績

	年間
開所日数	141
件数	260
平均件数(1日あたり)	1.8

5、利用者構成

(1)利用者数　：　定員12名、契約者4名(男性1名、女性3名)

6、職員体制

常勤職員2名、非常勤職員4名

職名	人数(H28)	備考
管理者(常)	1	
サービス管理者(常)	0	
生活支援員(常)	1	
生活支援員(非)	4	
看護師(非)	0	
運転担当職員(非)	0	
計	6	延べ人数(実数)

7、会議・研修

(1)内部・外部・研修会議
なし

8、 行事

なし

9、 設備管理業務

(1)施設設備の修理・工事

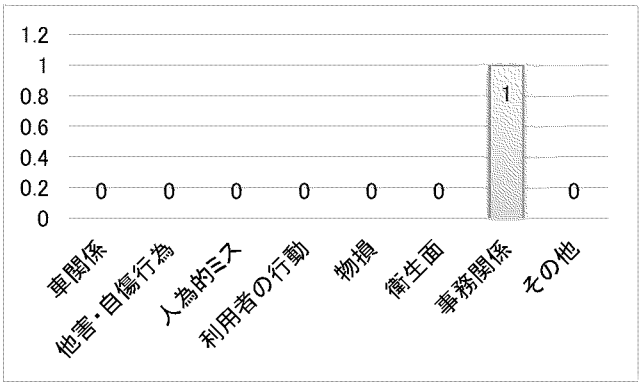
月	内容
4月	看板取り付け工事
5月	エアコン入れ替え工事

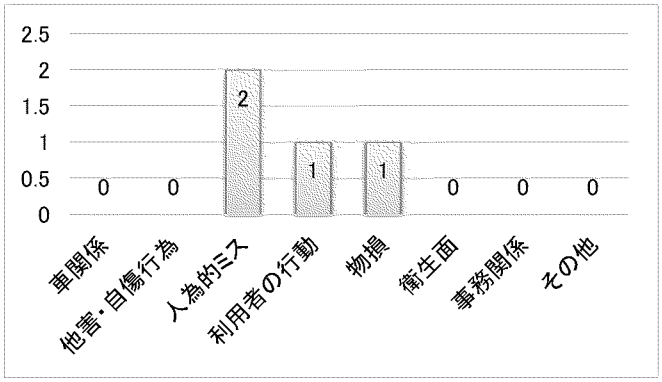
(2)車両の車検及び点検・修理

なし

10、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情　　2 件
(2)ひやりはっと　　1 件
(3)事故報告　　4 件





11、重点課題

① かねてから課題であったゴロゴロクラブの成人の日中一時支援の受入について、定員超過で利用の受入ができない状況だったが、ここで解消が見込まれる。新たな場所での開所となるので、ゴロゴロクラブの職員と情報共有に努め、連携を行う。

② 日中一時支援事業が重度加算、行動加算、送迎加算など一部単価の見直しが7月1日より施行される予定。利用希望の増加が見込まれる中ではあるが、より充実した活動を行えるよう、職員体制の強化と支援の質の向上を目指していく。

③ 27年6月まで、あいあいクラブが活動していた場所でもあるので、近隣の住民、自治会との関係をより良くしていくよう、職員全員が努めていく。

12、目標

① 利用者ニーズの高さを考慮し、今年度は1日平均3名以上の受入を目標とする。
② 法人内の事業所間で利用者の様子や事務連絡等、引き継ぎを確実に行うようにする。

13、総括

① 職員配置、受け入れ体制が整わず、目標としていた平均利用数を下回ることとなった。安定した職員配置と、それに伴う新規利用の受け入れを行うことで事業運営の適正化を計る。
② 事務や請求、その他の雑務に関しても、業務分担の振り分けがうまく出来ず、効率的に行うことが出来なかった。業務分担を明確にし、今後見込まれる利用希望者の増加に備えていく。

平塚支部

1、内部会議・研修

なし

2、外部会議・研修

会議・研修名	開催日	出席者	目的・内容
湘南西地区施設長会	5月16日	事業部長	情報共有、意見交換等
湘南西地区施設長会	6月16日	事業部長	情報共有、意見交換等
障害者就農セミナー	7月28日	事業部長	取り組み方、成功事例発表会
教育相談作業部会	8月31日	事業部長	教育・支援体制確立検討
湘南西地区施設長会	9月16日	事業部長	施設見学、情報交換等
みぬまの実践から人権を考える	10月3日	事業部長	人権、人格、基礎となる考えを見つめ直す
湘南西地区施設長会	1月17日	事業部長	意見交換、懇親会
湘南西地区施設長会	3月3日	事業部長	年度の振り返り、新年度の計画検討

ぶんぶん(平塚市南原2－4－5マインズビル1階)

1、 実施事業　　居宅介護・重度訪問介護・平塚市移動支援・パーソナルサービス(自費契約)

2、 目的

個別の支援を通して、障がいのあるご本人および家族が、地域社会において、より良い生活が送れることを目的とする。

3、 事業内容

直接支援～身体介護(食事、排泄、移乗、入浴等)、家事援助、移動支援、等

4、 事業実績

(1)居宅介護

	年間
時間数	80.0

(2)重度訪問介護

	年間
時間数	195.5

(3)移動支援

	年間
時間数	1553.5

(4)パーソナルサービス(自由契約)

	年間
時間数	40.0

(5)パーソナルサービス(自由契約)早朝・夜間

	年間
時間数	3.0

5、利用者構成

定員:なし/登録者:63名(男性46名、女性17名)

6、職員体制

常勤職員1名、非常勤職員15名

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	月1回	連絡事項、意見交換、情報共有

(2)外部会議

なし

(3)研修

研修名	開催日	主催者	内容
応急手当講習	6月2日	ゆうゆうクラブ	AEDを使った心肺蘇生法の実施体験
交通安全講習	6月15日	ゆうゆうクラブ	事故の傾向等を聴講
サービス等利用計画と個別支援計画について	7月28日	神奈川県社会福祉会館	サービス等利用計画と個別支援計画の関係性
利用者の個人情報の意識を身に付ける	10月13日	えぽっくハウス	利用者の個人情報の意識を身に付ける
消火器訓練	10月14日	からんころん	茅ヶ崎消防署署員立会の元消火器訓練

8、 設備管理業務

(1)施設設備の修理・工事

なし

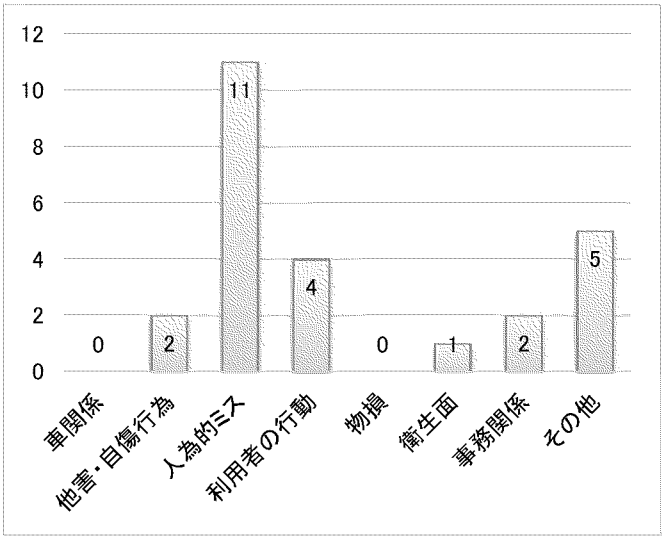
(2)車両の車検及び点検・修理

号	車両名	車両登録番号	今年度車検	月	点検・修理
22	ライフ	湘南580ね7622	H29.2.17	12月	エンジン点検、オイル・フロントワイパ・タイヤ(2本)交換
				2月	車検

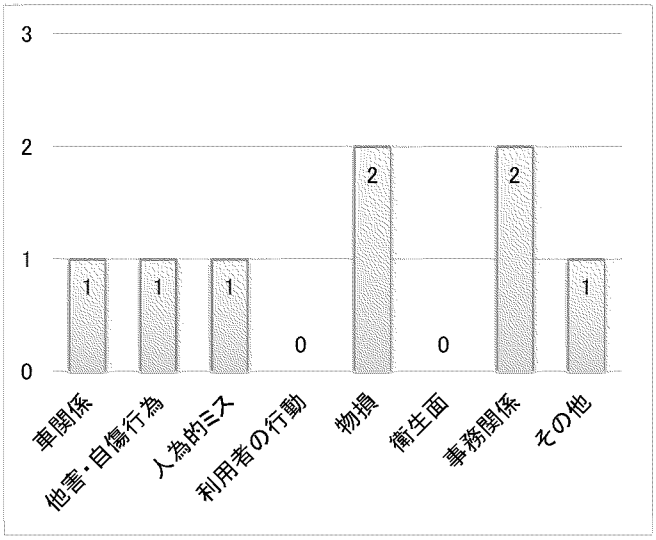
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情　　0 件

(2)ひやりはっと　　25 件



(3)事故報告　　8 件



10、重点課題

① 利用者ニーズが多様化してきている為、柔軟に応えていけるよう、ヘルパーのスキルアップと利用者に関わる情報共有、ご家族との連携を密に行っていく。

② 土日の利用希望が大幅に増えている為、家庭環境や緊急性を考慮しながら、バランス良くコーディネートしていく。

③ ヘルパーの個性を活かしつつ、利用者への支援に大きなブレがないよう、ゆうゆうクラブやえぽっくハウス、他事業所との連携を図る。

11、目標

① 家庭環境や緊急性の高さにより、当日の依頼でも受け入れていく。

② 土日のヘルパーに空きがある場合は、ぶんぶん側からご利用の提案を積極的に行い、ご家族のレスパイトに繋げていく。

③ 適宜個々のヘルパーと話し合いを行い、労働環境の充実を図る。

12、総括

重点課題に対し、土日の利用希望にはできる限り応える事ができたように感じる。ただしどうしても同じヘルパーにお願いする事が多く、個人毎では大きな負担になっていたのかもしれない。今後は情報の共有を図りつつ、他のヘルパーにも任せられるよう調整をしていきたい。

②の目標に対し、土日のヘルパーに空きがある場合には、ご家族へ提案し数件移動支援を行う事ができた。今後も調整を行っていきご希望に添えるサービスの提供に努めていきたい。

③の目標に対し、昨年度は2名ヘルパーの退職があった。労働時間の確保及び労働環境の整備を常に念頭に置いて取り組んでいかなければならない。その為にもヘルパーとの対話時間を確保し、現状の確認・課題・改善点などの思いを共有していかなければならない。

ゆうゆうクラブ（平塚市御殿1-7-6）

1、 実施事業　　放課後等デイサービス

2、 目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。主に、平塚市内の中高生を対象として、放課後・土曜日・学校の長期休暇期間中にあわせて、利用者の発達支援と当事者家族の就労支援、およびレスパイトの一部を保障する。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、おやつ作り、等
(1)サービス提供地域…平塚市・その他
(2)対象…18才未満で市町村より支給決定を受けた方(主に中・高生)
(3)開所日…月～土
(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)
(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00　土曜日・長期学校休業日/9:30～17:30
(6)定員…20名

4、 事業実績

(1)平塚市

	年間
開所日数	285
件数	3,912
平均件数(1日あたり)	13.7

(2)大磯町

	年間
開所日数	270
件数	73
平均件数(1日あたり)	0.3

(3)障害者地域生活サポート事業

	年間
開所日数	285
件数	1,523
平均件数(1日あたり)	5.4

5、 利用者構成

(1)利用者数　：　定員20名、契約者46名（男性31名、女性15名）

6、 職員体制

常勤職員4名、嘱託職員1名、非常勤職員8名、アルバイト0名

職名	人数(H28)	備考
管理者(常)	1	
児童発達支援管理責任者(常)	1	
指導員(常)	3	
指導員(非)	8	
保育士(常)	0	
保育士(非)	0	
運転担当職員(非)	0	
計	13	延べ人数(実数)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	月1回	情報共有、支援内容、日々の業務の課題検討
利用者個別面談	5、6、7、11、12月	個別支援計画の説明と契約

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
調整会議	4月11日	契約日日数調整、利用者情報共有
平塚養護学校放課後連絡会	6月20日	防災について、夏休みプール使用について
湘南養護学校プール説明会	6月20日	夏休みプール使用について
学齢児サービス事業所情報交換会	7月27日	保護者、学校、事業所の情報交換について
平塚市子ども部会	11月17日	サービス利用について
平塚養護放課後支援連絡会	2月22日	防災計画について
学齢児サービス提供事業所情報交換会	3月28日	デイサービスの利用について

(3)研修

研修名	開催日	場所	内容
応急手当講習	6月6日	ゆうゆうクラブ	AED心肺蘇生法の実施体験
安全運転管理者研修	6月8日	茅ヶ崎市民文化会館	安全運転管理について
交通安全講習	6月15日	ゆうゆうクラブ	事故の傾向等を聴講
行動援護従事者研修	9月27～29日	横浜やまびこの里	行動援護対象者の支援について
強度行動障害支援者養成研修	9月30日	神奈川県総合薬事保健センター	強度行動障害者の支援について
消火器訓練	10月14日	からんころん	消火器の扱いについて
福祉サービス第三者評価に関する事業者説明会	12月1日	社会福祉会館	福祉施設における第三者評価について
差別解消法と放課後等デイサービスガイドラインについて	1月11日	平塚勤労会館	デイサービスの運営について

8、行事

行事名	開催日	内容
新規利用者歓迎会	4月1、8日	新規利用者紹介
ピクニック	5月21日	昼食を兼ねて公園で遊ぶ
誕生日会	5月28日	利用者の誕生日を皆で祝う
誕生日会	6月15、16日	利用者の誕生日を皆で祝う
誕生日会	6月15、16日	利用者の誕生日を皆で祝う
平塚養護学校プール利用	7月27日	平塚養護学校のプールを借り活動を行う
誕生日会	7月26、27日	利用者の誕生日を皆で祝う
湘南養護学校プール利用	7月25、28日	湘南養護学校のプールを借り活動を行う
平塚養護学校プール利用	8月1、4、10日	平塚養護学校のプールを借り活動を行う

行事名	開催日	内容
湘南養護学校プール利用	8月3、24、25日	湘南養護学校のプールを借り活動を行う
誕生日会	8月25、31日	利用者の誕生日を皆で祝う
誕生日会	9月16、23、24、30日	利用者の誕生日を皆で祝う
学校へ行こう	10月4、5日	学校での授業風景を見学
誕生日会	10月7、19、21日	利用者の誕生日を皆で祝う
ハロウィンパーティー	10月27、29日	音楽・お菓子のくじ引き・仮装・手作り紙芝居
誕生日会	11月21日	利用者の誕生日を皆で祝う
誕生日会	11月22日	利用者の誕生日を皆で祝う
誕生日会	12月16、21日	利用者の誕生日を皆で祝う
避難訓練	12月17日	火災を想定
クリスマス会	12月24、26日	クリスマスを祝う
初詣	1月5、6日	神社にて参拝
誕生日会	1月13、18日	利用者の誕生日を皆で祝う
節分	2月3日	豆まき
誕生日会	2月17、27日	利用者の誕生日を皆で祝う
誕生日会	3月6、21、24日	利用者の誕生日を皆で祝う
卒業生を送る会	3月31日	卒業生を祝う

9、 設備管理業務

(1)施設設備の修理・工事

月	内容
7月	トイレ詰まり修理
9月	便座交換工事
2月	ノートパソコンバッテリー交換

(2)車両の車検及び点検・修理

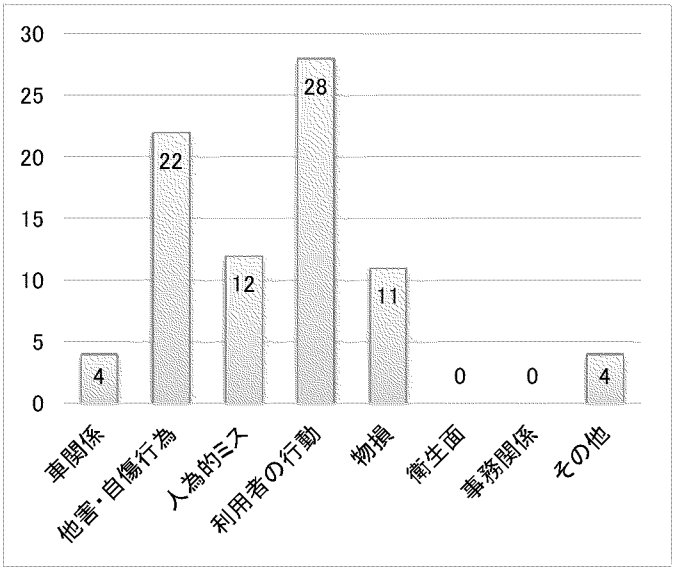
号	車両名	車両登録番号	今年度車検	月	点検・修理
9	ハイエース	湘南301つ9053	なし	5月	オイル交換
				5月	点検
				10月	オイル交換
				10月	フィルター交換
23	ハイゼットスローパー	湘南880あ1064	なし	12月	オイル交換、フィルター交換
				1月	前輪右側タイヤ交換
26	ステップワゴン	湘南502に2153	なし	4月	点検
				7月	オイル交換
				8月	ドアミラー修理
				12月	オイル交換、フィルター交換
				3月	バッテリー交換

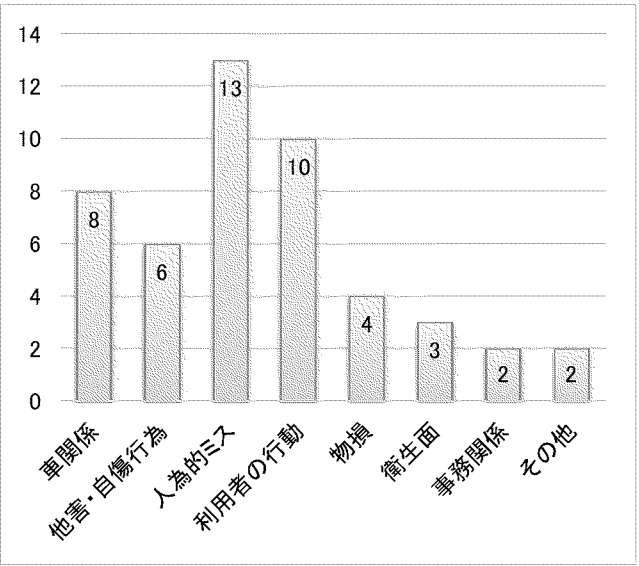
10、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情　　2 件

(2) ひやりはっと　　81 件

(3) 事故報告　　48 件





11、重点課題

① 27年度から帰宅送迎を実施したが、より安全な送迎を実施する為に添乗者の配置を定着していきたい。

② マンツーマン体制で支援する割合が多く、利用者とのやりとりや危険予測を瞬時にしていくことが必要になってきた。

③ スタッフの現場業務について、マンツーマン対応や送迎などの負担の偏よりがある。

④ 長時間勤務の中で、休憩時間の提供。

12、目標

① ミーティングの中に利用者支援についての検討も盛り込み、スタッフ全体の意見の反映された個別支援計画と支援計画に向けた取り組みを行う。

② 利用者とのやり取りの場面において、スタッフの個性と利用者の個性が十分に発揮できる職場づくり。

③ 利用者が楽しみながら学ぶ事が出来るよう、学習活動が充実し継続的に実施していけるようする。

④ 季節に応じたイベントの実施と誕生会を行う。

⑤ 個々の利用者に適した過ごし方の模索をしていく。

⑥ 市内にたくさんの放課後等デイサービス事業者が存在している中、選ばれるデイサービスになれるよう、利用者への活動内容の充実を図ると共に保護者とのコミュニケーションを図っていく。

13、総括

① 送迎については運転専門のスタッフがいたことで車による事故も未然に防げた。
② 危険予測については広い視野で感知していけるよう、ひやりはっとの活用や危険予知訓練を行っていきたい。

③ スタッフの構成も変化し、運転業務に携われるスタッフが少なくなり、またマンツーマン対応へのスタッフの偏りもあったが、事前に予定を組んでいくことにより、一年間サービスを提供し続けることができた。また担当制を導入してきたことで、利用者も付き添い者に関心を持つようになってきた。

④ 夏季などの長時間勤務時にスタッフへの満足な休憩時間を確保することができなかった。

⑤ 支援検討会議を一年間実施することができたが、出された意見が現場に反映しきれてないことも感じた。支援検討会議の出席率を上げていきたい。

⑥ 個別支援計画については計画を立てる段階で、スタッフ全体を巻き込みながら作成できるようになった。今後はより支援計画に関心を持ってもらい利用者支援に生かせるようにしたい。

⑦ 創作活動を通じて季節に応じたイベントを行った。事前準備の段階で利用者と一緒に準備を進めたり、視覚で季節を感じてもらえるよう試みた。次年度も継続させ、利用者へ季節感を感じてもらえるイベントを目標にしたい。

⑧ 学習活動について一年通じて実施していくことができた。全体での活動では「楽しく学ぶ」を目標に模擬体験、ゼスチャー、カード、貼り絵など活用しながら工夫ある活動を実施した。個別学習については定期的に宿題を行う人もいれば、気分によってやったりやらなかったりの人、目標に向かって学習を進める人も出てきた。今後も利用者のニーズに合わせて活動の展開を行っていきたい。
⑨ 音楽活動については音楽の好きな利用者がたくさんいるため、定期的に実施することができた。

⑩ 保護者から「肥満解消」に対する要望があり、外出して体を動かす機会を設けてきた。

⑪ 今年度よりお誕生日会を導入し利用者全員に実施することができた。保護者を巻き込みながら「お誕生日会」を楽しみにしてくれる人が多かった。

⑫ 一年通じて感じたことは、スタッフ同士のコミュニケーションや情報の共有は欠かせないものと感じた。見えるくんの活用についても検討していく、またスタッフ同士のコミュニケーションについても普段からの声の掛け合いが大事である。

えぽっくハウス（平塚市南原２－４－５マインズビル1階）

1、 実施事業　　生活介護(多機能型)

2、 目的

利用者の排泄、食事等の介助や日中活動の充実を図り、日常生活、社会参加促進や生活能力向上に向けての訓練を行う。

3、 事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等
(1)サービス提供地域…平塚市・その他
(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
(6)定員…28名

4、 事業実績

（1）平塚市

	年間
開所日数	253
件数	5,979
平均件数(1日あたり)	23.6

（2）二宮町

	年間
開所日数	253
件数	253
平均件数(1日あたり)	1.0

（3）障害者地域生活サポート事業

	年間
開所日数	253
件数	3,692
平均件数(1日あたり)	14.6

（4）作業会計の状況

	年間
収入(円)	570,969
工賃総額(円)	400,200
平均工賃額(円)	12,313

5、利用者構成

（1）利用者数　：　定員20名、契約者33名（男性22名、女性11名）

6、職員体制

常勤職員7名、非常勤職員23名

職名	人数(H28)	備考
管理者(常)	1	
サービス管理者(常)	1	兼務
生活支援員(常)	5	
生活支援員(非)	16	
看護師(非)	2	
運転担当職員(非)	5	
計	30	延べ人数(実数)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	月1回	支援検討、確認、情報交換
個別支援計画作成会議	8月24日	支援計画の作成に係わる話し合い
利用者個別面談	10月7～31日	支援報告、聴き取り

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
平塚養護学校高等部3年現場体験実習打合せ	4月5日	実習内容説明
都市公園業務委託清掃作業説明会	4月18日	委託内容・作業内容説明
えぽっくハウス利用者モニタリング	4月27日	活動内容・家庭での様子の聴き取り
塚越古墳公園清掃委託業務打ち合わせ	5月9、31日	清掃業務、契約について
内田クリニック嘱託医相談	5月11日	酸素吸入使用利用者への対応、健康診断相談
内田クリニック嘱託医相談	6月8日	健康診断実施相談
内田クリニック嘱託医相談	7月6日	熱中症対策、対応 乾癬の対応
塚越古墳公園清掃委託業務打ち合わせ	9月9日	再委託に関する説明と契約
内田クリニック嘱託医相談	9月15日	糖尿病についての注意事項
平塚養護学校肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会	1月12日	肢体不自由部門の児童生徒の状況、卒業後の現状と課題
内田クリニック嘱医療面談	1月7日	インフルエンザの予防
福祉事業所合同説明会	2月2日	前回合同見学会の報告 合同見学会の打合せ

(3)研修

研修名	開催日	場所	内容
安全運転講習	11月4日	三共自動車学校	適性検査 教習場にて講習
アメニティーフォーラム	2月10～12日	びわ湖大津プリンスホテル	アメニティーフォーラム21参加

8、 行事

行事名	開催日	内容
平塚養護高等部2年 実習オリエンテーション	5月23、26日	実習内容説明
福祉事業所合同説明会	5月12日	湘南養護・平塚養護・盲・聾学校保護者参加による事業所説明
新規利用者県サポ調査	5月23日	新規利用の聴き取り調査
消防設備点検	5月30日	非常ベル・消火器点検
平塚養護学校高等部2年実習	6月13～15日	作業・活動体験
飲食店外食	6月20～27日	外食体験
七夕祭り見学	7月8日	祭り見学
平塚養護学校夏祭り	7月20日	自主製品販売
湘南養護学校夏祭り	7月27日	自主製品販売
湘南養護学校卒業生アフターフォロー見学	7月29日	卒業生活動状況見学
平塚養護学校見学	8月3日	南原活動見学
平塚盲学校見学	8月29日	卒業生活動見学
平塚養護学校高等部3年 現場実習	9月26～28日	現場体験実習
平塚市役所展示即売会	10月13、14日	自主製品販売
お楽しみ外出	10月28日	宮ヶ瀬ダム見学
インフルエンザ予防接種	11月16日	えぽっくハウス南原にて予防接種
レゲエコンサート	11月18日	大磯ロッカーズレゲエ演奏
職員健康診断	11月4～25日	血液検査、心電図等
職員健康診断	12月1～9日	血液検査、心電図等
市役所展示即売会	12月6～9日	自主製品販売
医療面談 クリスマス会	12月7日 12月14日	インフルエンザの予防 中央公民館小ホール、ハンドベル演奏
市民プラザ展示即売会	1月26～31日	自主製品販売
利用者健康診断	3月22日	定期健康診断ほか
入職希望者体験ボランティア	3月2、7、8日	活動体験

9、 設備管理業務

（1）施設設備の修理・工事

月	内容
8月	入り口のドアがたつき、破損修理（南原）
8月	壁、床の修繕（南原）
9月	ドア補修（南原）
9月	壁修繕（黄色の家）
11月	トイレ水漏れ修理、給水漏水調査（中原）
1月	黄色の家(中原)ガラス修理
3月	はちろう君(エコポット製作機)成型リング(ネジ穴)補修
3月	アンヌ1Fトイレ水漏れ修理(部品交換)

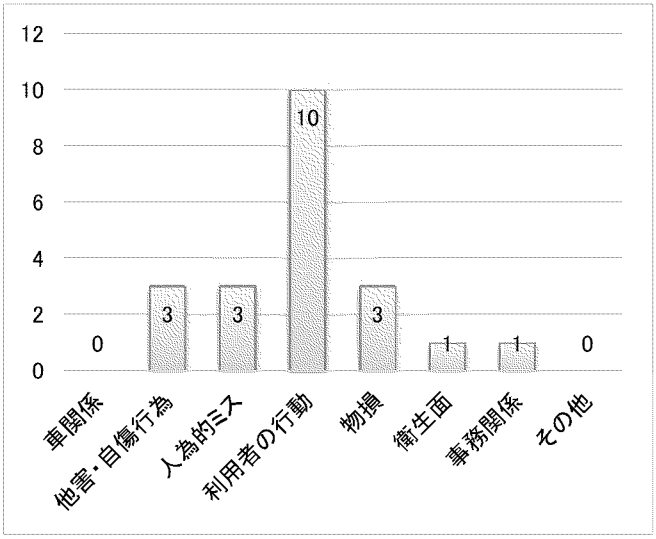
(2) 車両の車検及び点検・修理

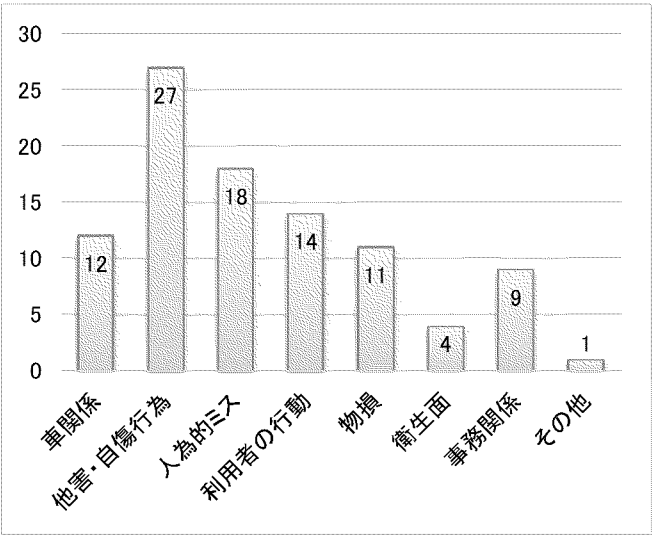
号	車両名	車両登録番号	今年度車検	月	点検・修理
1	タウンエースノアⅢ	湘南501も16	なし	11月	オイル交換
				3月	オイル交換
2	ライトエース	湘南501み5936	H28.5.10	5月	車検
11	レジアスエース	湘南800す6515	H29.1.27	8月	パンク修理、ラジエーター交換他
				1月	車検
14	ハイエース	湘南301と9375	H28.7.20	7月	車検
				7月	パンク修理
				8月	タイヤ交換
				8月	バッテリー交換
15	シボレー	湘南502た6846	H28.6.25	4月	ワイパー交換
				6月	車検
				8月	オイル交換
16	キャラバン	湘南800す7848	H29.3.10	7月	タイヤ交換
				10月	ドアノブワイヤー破損修理
				11月	パンク修理
				3月	車検
19	キャラバン	湘南800す8393	なし	なし	

10、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情　　1 件

(2) ひやりはっと　　21 件　　(3) 事故報告　　96 件





11、重点課題

① 1日の平均利用件数の確保(他事業者の生活介護参入により利用日数減が懸念される)

② 活動内容の充実(作業・日課・行事・余暇)

③ 職員のスキルアップと体調管理(外部研修への参加・腰痛予防・メンタルヘルスでの精神的安定を図り業務にゆとりを持ち取り組む)

④ 作業の充実(新しい作業の取り組み・青果袋詰め・納品・ゴルフボール洗い)

12、目標

① 『事業計画の目標』の達成
② 新しい行事の実施（外食・プール・温泉・公共交通機関の利用）
③ 就労移行事業との連携で作業の幅を広げる（青果袋詰め・ゴルフボール洗い）
④ 個別支援計画の充実・実行

13、総括

① 実績に関しては、近隣事業所の生活介護事業（入浴サービスあり）の参入、障害福祉全体の相談事業の動きが活発となり、ショートステイや他事業所との併用利用などの希望が増えたことで、1日平均件数　23.6名と目標である25名を下回る数字となった。

② 今年度は、新たな行事を実施することができず、通常の行事をより安全に、円滑に行い、職員の経験を積み次につなげる形となった。

③ 玉ねぎの皮むき、ネット詰め等、青果事業への参加は不定期になっているが、ゴルフボール洗浄作業には定期的に参加することになり、作業の幅が広がった。

④ 活動終了後には、職員ミーティングを設け日々を振り返り、個別支援計画に反映している。情報伝達ツール「みえるくん」を活用して、情報共有を密に行い実行できるように取り組んだ。

えぽっくハウス(平塚市西真土1-7-62)

1、 実施事業　　就労移行支援(多機能型)

2、 目的

利用者の就労支援の提供と日中活動の充実を図り、社会参加促進や生産活動の知識、能力向上に必要な訓練を行う。

3、 事業内容

生産活動、外出、等
(1)サービス提供地域…平塚市・その他
(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
(6)定員…12名

4、 事業実績

(1)平塚市

	年間
開所日数	255
件数	3,586
平均件数(1日あたり)	14.1

(2)作業会計の状況

	年間
収入(円)	5,482,348
工賃総額(円)	1,133,380
平均工賃額(円)	71,997

5、利用者構成

(1)利用者数 ： 定員10名、契約者16名(男性12名、女性4名)

6、職員体制

常勤職員7名、非常勤職員0名

職名	人数(H28)	備考
管理者(常)	1	
サービス管理者(常)	1	兼務
生活支援員(常)	2	
生活支援員(非)	0	
職業指導員(常)	2	
職業指導員(非)	0	
就労支援員(常)	1	
就労支援員(非)	0	
計	7	延べ人数(実数)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	月1回	行事・活動・業務の話し合い
個別支援計画作成会議	8月24日 10月26日	支援計画の作成に係わる話し合い
利用者個別面談	8月9、10、24、25、26、30日	個別支援計画報告、聴き取り
新規利用希望者面談	1月13日	契約、契約書、重要事項説明
利用者健康診断	3月22日	定期健康診断ほか

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
平塚養護学校高等部3年現場体験実習打合せ	4月5日	実習内容説明
えぽっくハウス利用者モニタリング	4月27日	活動内容・御家庭での様子の聴き取り
化粧品サンプル詰め合わせ業務打合せ	7月29日	業務内容について
うーたん保育園青果配達の打合せ	9月12日	配達業務の調整
平塚養護学校肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会	1月12日	肢体不自由部門の児童生徒の状況、卒業後の現状と課題
就労移行会議	2月3日	入職に向けての報告、情報交換
福祉事業所合同説明会	2月2日	前回合同見学会の報告、合同見学会の打合せ

(3)研修

研修名	開催日	場所	内容
新任職員人権研修	7月27日	神奈川県社会福祉会館	あおぞらプランⅡの説明

8、行事

行事名	開催日	内容
福祉事業所合同説明会	5月12日	湘南養護・平塚養護・盲・聾学校保護者参加による事業所説明
キャロット工房見学会・懇談会	5月13日	キャロット工房現状と今後の方向性
相談事業所モニタリング	5月19日	キャロット工房利用者3名モニタリング
湘南養護学校実習生高等部3年オリエンテーション	5月24日	実習内容説明
平塚養護学校実習生高等部3年オリエンテーション	5月31日	実習内容説明
湘南養護学校高等部3年現場実習	5月30日～6月10日	作業・活動体験
湘南養護学校高等部3年現場実習	6月13日～24日	作業・活動体験
平塚養護学校高等部3年現場実習	6月13日～17日	作業・活動体験
平塚養護学校高等部3年現場実習	6月20日～24日	作業・活動体験
湘南養護学校高等部3年現場実習	6月27日～7月8日	作業・活動体験
平塚養護学校高等部3年現場実習	7月11日～22日	作業・活動体験

行事名	開催日	内容
平塚養護学校夏祭り	7月20日	自主製品販売
湘南養護学校夏祭り	7月27日	自主製品販売
湘南養護学校卒業生アフターフォロー見学	7月27日	卒業生活動状況見学
平塚養護学校フォローアップ見学	7月28日	卒業生活動状況見学
利用希望者体験実習	9月5日	活動参加
慰労外出　大山登山	9月21日	公共交通機関(バス)の乗車体験
湘南養護学校実習オリエンテーション	9月30日	実習内容説明
湘南養護学校高等部2年現場実習	10月3～14日	キャロット工房現場体験実習
湘南養護学校高等部3年現場実習	10月17～28日	キャロット工房現場体験実習
平塚養護学校高等部3年現場実習	10月17～21日	キャロット工房現場体験実習
湘南養護学校高等部3年現場実習	10月24～11月4日	キャロット工房現場体験実習
平塚養護学校高等部3年現場実習	10月31～11月4日	キャロット工房現場体験実習
インフルエンザ予防接種	11月16日	えぽっくハウス南原にて予防接種
健康診断	11月4､25日	血液検査、心電図等
現場体験実習	12月1～7日	キャロット活動体験
市役所展示即売会	12月6日～9日	自主製品販売
医療面談	12月7日	インフルエンザの予防
クリスマス会	12月14日	中央公民館小ホール､ハンドベル演奏
平塚養護学校2年生現場実習	2月20～24日	キャロット活動参加、作業体験
福祉事業所合同説明会	2月22～24日	前回合同見学会の報告、合同見学会の打合せ
新規利用希望者面談	3月16､17､22日	契約、契約書、重要事項説明

9、 設備管理業務

(1)施設設備の修理･工事

月	内容
12月	ことぶき平ケース冷凍機簡易点検作業
1月	玄関引戸錠調整、シャッター調整修理

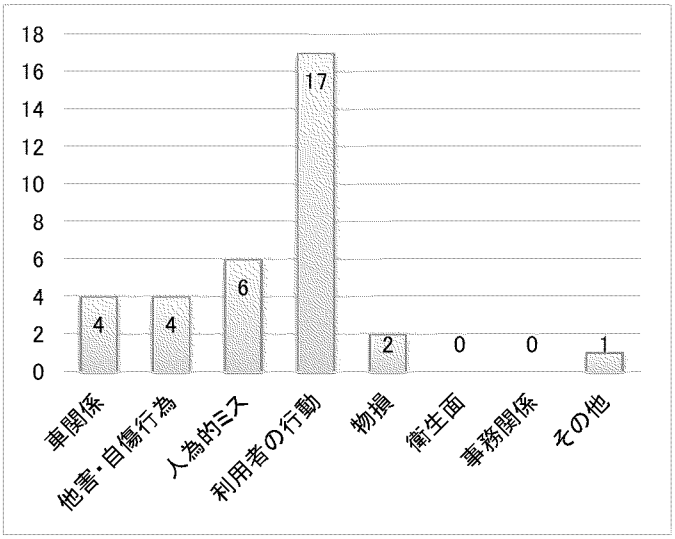
(2)車両の車検及び点検･修理

号	車両名	車両登録番号	今年度車検	月	点検･修理
13	セレナ	湘南501は1703	なし	7月	エンジン交換
				7月	車体振動修理
17	キャラバン	湘南400つ3829	なし	3月	車検
28	ヴォクシー	湘南502に1925	なし	なし	
29	ステップワゴン	湘南502ね523	なし	4月	初回点検
				8月	無料半年点検
				8月	オイル点検
				9月	オイル点検
				2月	オイル交換

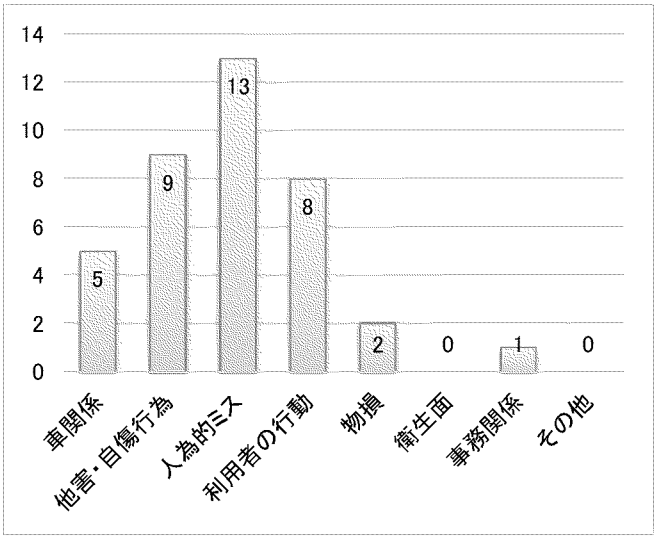
10、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情　　0 件

(2) ひやりはっと　　34 件



(3) 事故報告　　38 件



11、重点課題

① 青果ことぶき店・横浜青果市場・市役所福祉ショップ「ありがとう」との連携(作業量の調整)
② 青果、袋・ネット詰め・ごぼうささがき・ゴルフボール洗い等、作業効率(正確性、速さ)の向上
③ 職員のスキルアップ(支援力の向上・障がい特性の理解・作業技術の向上・外部研修の参加)
④ 体調管理(腰痛予防・メンタルヘルス相談の活用で気持ちの安定)

⑤ 焼き菓子・弁当の販路の拡大

12、目標

①『事業計画の目標』の達成(出勤率の安定)

② 作業能力に応じて、工賃の向上を図る

③ 利用者の能力に応じた作業内容、作業量の調整、確保

④ 作業効率(正確性・速さ)を充実させ、作業量を増やしていく

13、総括

① 定期通院等による欠勤は予想できていたものの、気持ちが安定せずに長期欠勤になるケースが発生した。

② 工賃の査定をおこなうところまでには至っていないものの、半期に1度の慰労外出の実施、年度末の一時金の支給をおこなうことで工賃に反映した。

③ 体力面、作業能力等々、利用者の力量を見極めながら、青果作業（ネット詰め、ネット留め、箱詰め、ごぼうのささがき等々）、配達、納品、店頭業務、ゴルフボール洗浄、化粧品サンプル詰めに参加した。苦手な作業に関しては利用者の意思を尊重しながらも、辛抱強く働きかけ、気持ちが向くように促しをおこなっている。時間をかけて苦手な作業も克服できる場面も見られた。

④ 得意な事を伸ばし、苦手な事に関してもゆっくり取り組み自信をつける事で、作業効率が向上している。その他　健康面にも意識を向け、食後の休憩時間に縄跳び運動を実施している。全員積極的に参加し、体力面の向上、気分転換をする事で作業意欲も高まっている。

えぽハウ(平塚市御殿1-33-21)

1、 実施事業　　平塚市日中一時支援

2、 目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。市内在住の方を対象として、利用者の活動場所の確保と、当事者家族の就労支援およびレスパイトの一部を保障する。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等
(1)サービス提供地域…平塚市
(2)対象…市町村より支給決定を受けた方
(3)開所日…月～土
(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)
(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:30　土曜日/9:30～16:30

4、 事業実績

(1)平塚市

	年間
開所日数	253
件数	1,688
平均件数(1日あたり)	6.7

5、利用者構成

(1)利用者数　：　定員10名、契約者18名(男性11名、女性7名)

6、職員体制

常勤職員1名、非常勤職員15名

職名	人数(H28)	備考
管理者(常)	1	生活支援員と兼務
サービス管理責任者(常)	0	
生活支援員(常)	1	生活支援員と兼務
生活支援員(非)	15	
事務員(非)	0	
看護師(非)	0	
計	17	延べ人数(実数)

7、会議・研修

内部・外部・研修
なし

8、 行事

なし

9、 設備管理業務

(1)施設設備の修理・工事

なし

(2)車両の車検及び点検・修理

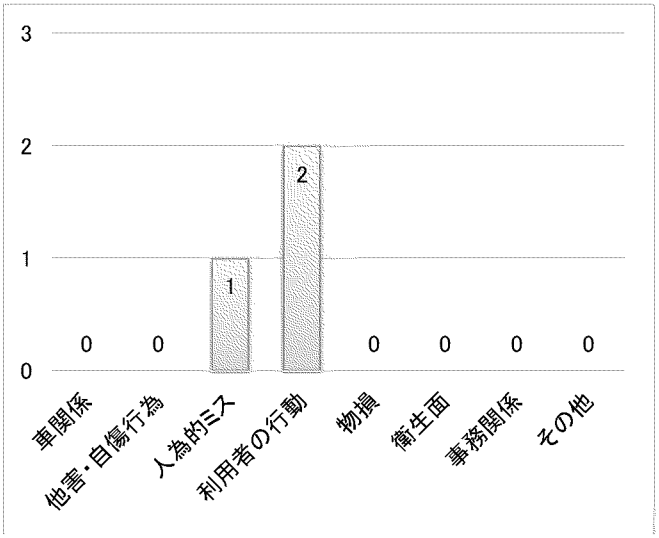
なし

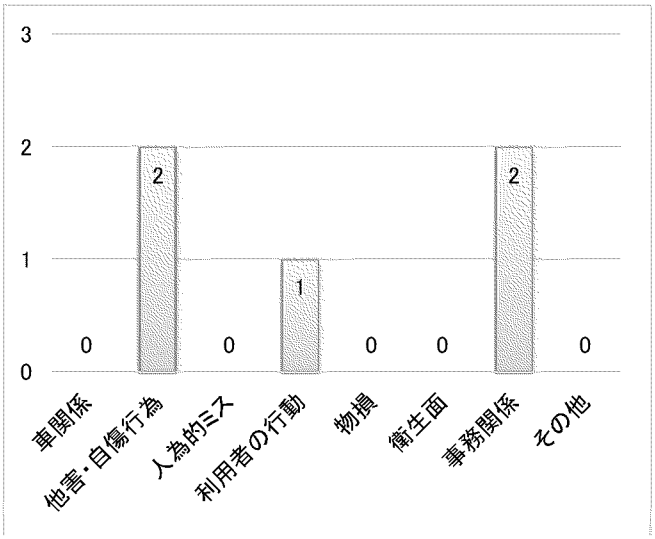
10、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情　　0 件

(2)ひやりはっと　　3 件

(3)事故報告　　5 件





11、重点課題

① 延長支援の需要が増えている為、より多くの利用希望に応えていけるよう、どの職員も3名の利用者を担当できるスキルを身に付ける。

② ご家族のレスパイト、就労等を支えていけるよう、受け入れ態勢を安定させる。

③ 延長支援では、日中と異なる余暇活動を取り入れていく。

12、目標

① 1日平均7件以上の受け入れを目標とする。

② 延長支援では、日中の時間帯と職員が全て入れ替わる為、利用者の様子だけでなく事務連絡など、引き継ぎを確実に行うようにする。

13、総括

①の目標に対し、実績が6.6件という結果であった。希望数の問題もあるが、今後は重点課題①にあるように支援者の担当できる人数を増やし、より多くの希望に応えられる体制作りに励んでいく。その為にも支援会議や支援者間の連携を密に行い、情報共有を強化し支援の底上げを行っていく。

②の目標に対し、引き継ぎ不足により混乱をきたす事が起こってしまっていた。直接支援に関わらない事であっても、支援に集中する為にも生活介護の日中支援から日中一時延長への引き継ぎを徹底する事が大前提である。日中の様子から持ち物・着衣までを毎回必ず確認するよう、日中支援職員とヘルパーに促していく。

日中一時延長時間の支援内容の更なる充実が必要である。利用者が興味を示すもの、楽しめる物を模索し、充実した場の提供に努めていきたい。

トムトム相談室（平塚市南原２－４－５マインズビル1階）

1、 実施事業

計画相談支援・障害児相談支援

2、 目的

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援を行うことにより、ハンディキャップのある方々及びご家族の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用が行えるようにすることを目的とする。

3、 事業内容

（1）計画相談支援
①サービス利用支援
サービス等利用計画の作成など
②継続サービス利用支援
モニタリングの実施、サービス等利用計画の見直し、変更など
（2）障害児相談支援
①障害児支援利用援助
障害児支援利用計画の作成など
②継続障害児支援利用援助
モニタリングの実施、障害児支援継続利用計画の見直し、変更など

4、 事業実績

月平均相談件数　52件

5、職員体制

常勤職員3名（管理者、兼務職員を含む）

6、会議・研修予定

（1）内部会議

会議名	開催日	内容
相談定例会議	月1回	利用者に関する情報交換、現在の進捗状況や課題等について

（2）外部会議

会議名	開催日	内容
平塚市サービス調整会議	4月7日	今年度の相談支援に関する事務連絡、および市内の相談支援対象者の事業所確認
茅ヶ崎市、寒川町相談事業所連絡会	5月10日	情報交換、研修等について
平塚市サービス調整会議	5月10日	計画更新利用者の担当事業所の確認等
茅ヶ崎市、寒川町相談事業所連絡会	6月14日	情報交換、研修等について
平塚市サービス調整会議	6月14日	計画更新利用者の担当事業所の確認等

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市、寒川町相談事業所連絡会	7月12日	情報交換、研修等について
茅ヶ崎市、寒川町相談事業所連絡会	8月10日	情報交換、研修等について
茅ヶ崎市、寒川町相談事業所連絡会	9月13日	情報交換、研修等について
茅ヶ崎市、寒川町相談事業所連絡会	10月11日	情報交換、研修等について
茅ヶ崎市、寒川町相談事業所連絡会	11月8日	情報交換、研修等について
地域生活支援拠点準備意見交換会	12月12日	茅ヶ崎市内での地域生活拠点事業に関して行政からの説明と意見交換
茅ヶ崎市、寒川町相談事業所連絡会	12月13日	茅ケ崎養護学校の先生と相談事業所の関わりについての情報交換など
茅ヶ崎市、寒川町相談事業所連絡会	1月25日	地域生活支援拠点について、研修など
茅ヶ崎市相談事業所連絡会	2月14日	連絡会での取り組みについての振り返り
茅ヶ崎市、寒川町相談事業所連絡会	3月14日	情報交換、次年度の会議内容について

(3)研修

研修名	開催日	場所	出席者	内容
平塚市・相談支援分科会スキルアップ研修会	5月10日	平塚市役所	常勤2名	相談支援専門員がサービス等利用計画を作成する際のポイント等について
平塚市・相談支援分科会スキルアップ研修会	6月14日	平塚市役所	常勤2名	相談支援専門員がサービス等利用計画を作成する際のポイント等について
個人情報の取り扱いについて	7月6日	神奈川県社会福祉会館	常勤2名	利用者の個人情報を福祉現場でどのように取り扱うべきかについて等の講義
茅ヶ崎市相談事業所連絡会研修	7月22日	神奈川県社会福祉協議会	常勤1名	グループスーパービジョン
平塚市・相談支援分科会スキルアップ研修会	8月4日	平塚市役所	常勤2名	グループスーパービジョン
発達障がい理解の一歩	8月10日	茅ヶ崎市社会福祉協議会	常勤1名	臨床心理士からみた発達障がいについて(事例を通してのコメントなど)
グループスーパービジョン	9月29日	茅ヶ崎地区コミュニティセンター	常勤1名	事例を通して支援方法などについてグループで協議する
早期療育普及研修	10月19日	総合療育相談センター	常勤1名	早期療育についての説明
地域と共につくるインクルーシブな学校	11月12日	茅ヶ崎市文化会館	課長1名 常勤1名	報告 パネルスディスカッション
「寄り添うということ～実践事例を聴いて～」	11月17日	神奈川県社会福祉会館	常勤1名	事例報告をもとに「寄り添うということ」について考える
「摂食・嚥下の基本と食事支援」	12月9日	中井やまゆり園	常勤1名	利用者の方の特性を踏まえた介助方法についての研修
相談支援と個別支援計画の関係性について	12月15日	平塚市教育会館	課長1名	サービス等利用計画と個別支援計画の関連性等についての講義
「初回相談受付シート」を使ったグループワーク	1月25日	茅ヶ崎市社会福祉協議会	課長1名 常勤1名	相談支援の初回相談をテーマにしたグループワーク
施設連絡会研修	2月18日	茅ヶ崎市役所分庁舎	常勤1名	対人援助、スタッフの心構え

7、 設備管理業務

(1)施設設備の修理・工事

なし

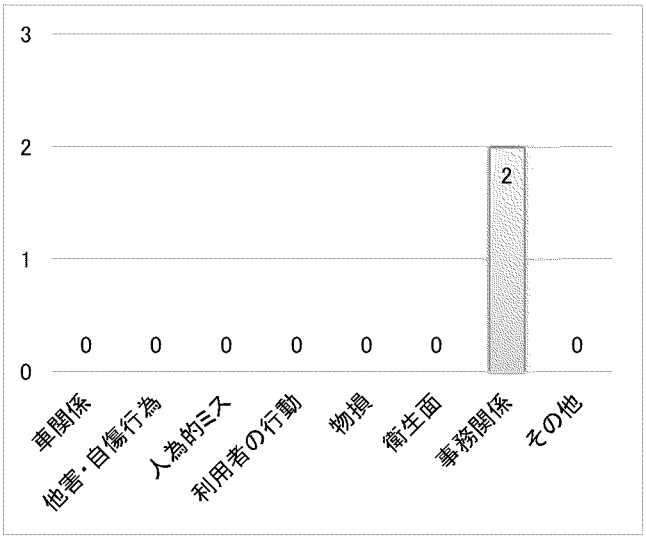
(2)車両の車検及び点検・修理

号	車両名	車両登録番号	今年度車検	月	点検・修理
7	キャパ	湘南502ぬ1416	H28.4.12	4月	車検
原付	原付	茅ヶ崎市す644		6月	車両整備

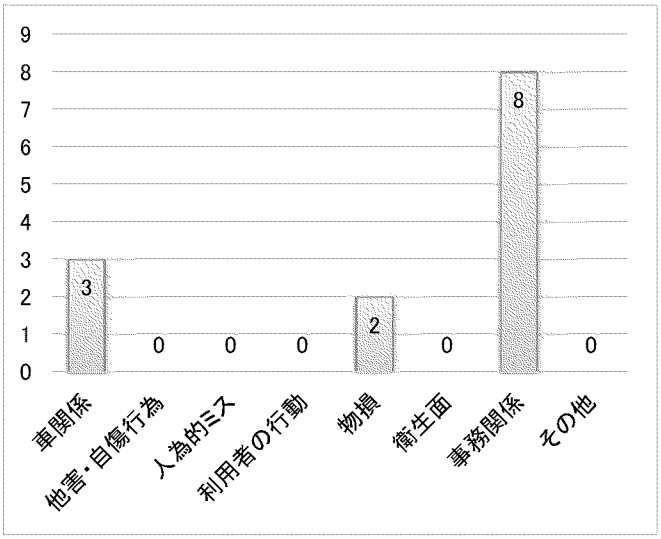
8、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情　　0 件

(2)ひやりはっと　　2 件



(3)事故報告　　13 件



9、 重点課題

＜茅ヶ崎支部＞

①茅ヶ崎市内では受給者に対して計画書作成が約85%、うちセルフプランが約50%となっている。茅ヶ崎支部は比較的相談支援事業所が介入しているが、ゴロゴロクラブの放課後等デイサービス利用者の60%がセルフプランとなっているため、相談支援による計画書作成が必要である。

＜平塚支部＞

①平塚市内の受給者への計画書作成は、児童はセルフプランは無く、現在は100%に近い数字になってきている。成人は、セルフプランも含めると90%近くの策定率になっている。今後は現在の利用者の相談支援を行いながら、新しい利用者をどのように確保していくかが課題となる。

②モニタリング期間の設定については行政サイドで決められる事が多くなってきており、事業費的には厳しい面がある。

③サービス全体の状況としては、短期入所が要望に対して不足気味であったり、グループホームの要望が出てきている。

10、目標

＜茅ヶ崎支部＞

①茅ヶ崎支部の中で現在セルフプランになっている利用者へ、適宜に相談支援を行なっていく。

②研修などを通して現在ある支援・支援内容を把握すると共に関係機関との連携を図り、より利用者にあった計画書の作成ができるようにしていく。

＜平塚支部＞

①現在の利用者の計画、モニタリングを継続して行なっていく。

②当法人の通所先の新規利用者の相談はできるだけ受けていく、当法人としてのサービス提供はないが、調整会議などを通してセルフプランや未策定の利用者に関しても受け入れを行なっていく。

③認定調査も計画対象者を中心に行っていく。

11、総括

＜茅ヶ崎支部＞

茅ヶ崎支部内のセルフプランになっている利用者に対しては、担当を分けながら相談支援の介入が進んでいる。他事業所からの依頼も少しずつ増え、法人外利用者の計画相談も増えてきている。

一年を通して多くの研修に参加する事ができた。グループスーパービジョンでは関係機関との顔繋ぎができた利点があるが、その他の研修にも積極的に参加できるようにしていきたい。

＜平塚支部＞

昨年度の目標数値と実績を比較すると、事業所の年度当初の目標から月平均で4件ほど実績が下回ってしまった。要因としてはモニタリング期間の設定が行政の判断により伸ばされてしまうケースが多くなってしまったこと、児童に関しては一律のモニタリング設定にされてしまっていることなどにより、利用契約者数は年間で増加してきているものの利用実績は伸び悩んでしまった。今後もモニタリング期間の設定については期間をのばされてしまうことが予想される。（他事業所が長い設定で行うことが多いことも影響があると思われる。）

平塚市全体としては成人に関しては策定率が上がってきているため未策定の方は少なくなってきたこともあり、新規利用者については少しずつであるが増加はしてきているものの急増はしなかった。児童に関しては、未策定の利用者が成人よりも更に少ないので、今年度は数名の増加に留まった。

認定調査なども計画策定にともない、適時実施した。

相談内容からは家族の介護負担の増加や傷病などによる、夜間および休日の支援に関する要望が多く、社会資源の不足が課題としてあげられる。また津久井やまゆり園の事件の影響が少なからず社会資源の状況に影響を与えていた。（短期入所が利用しづらくなった件がみられた。）児童に関しては放課後等デイサービスの事業所および利用者の増加に伴って給付及び利用方法の制限が起きてきていて、次年度以降のサービス利用にも影響が出ると思われる。

特定非営利活動法人パーソナルサービスセンタートムトム

平成29年3月31日現在

総会

監事2名

理事　理事長

総務部長

事業部長

茅ヶ崎支部

平塚支部

事業所名	サービス名	分室	職員配置
本部	総務部 経理・労務・庶務		常勤 嘱託 非常勤
ケアホームとむ郎	共同生活援助		常勤 非常勤
ゴロゴロクラブ	放課後等デイサービス		嘱託 非常勤
からんころん	生活介護		常勤 非常勤
あいあいクラブ	放課後等デイサービス		常勤 嘱託 非常勤
モンキーポッド	茅ヶ崎市日中一時支援		常勤 非常勤
トムトム相談室	計画相談支援 障害児相談支援		常勤
えぽっくハウス	生活介護 就労移行支援 就労継続支援Ｂ型	黄色い家（中原） キャロット工房（西真土） グリーン工房1階（西真土） アンヌ（城所） いずみビル（寒川町）	常勤 嘱託 非常勤
えぽハウ	平塚市日中一時支援	阿部公一ビル（御殿）	常勤 非常勤
ぶんぶん	居宅介護 重度訪問介護 平塚市移動支援		常勤 非常勤
ゆうゆうクラブ	放課後等デイサービス		常勤 嘱託 非常勤

職員：
常勤　32名/ 嘱託　6名
非常勤　82名
アルバイト　2名
合計　122名

別紙1：平成28年度組織図